

2

運 転 す る 前 に

各部の開閉

キー	2-2
ドア	2-3
キーレスアクセス&スタート	2-10
盗難警報装置	2-24
チャイルドブルーフ	2-27
パワーウィンドウ	2-27
フューエルリッド (燃料補給口)	2-31
ボンネット	2-33
リヤゲート	2-35

シート

正しい運転姿勢	2-37
フロントシート	2-39
リヤシート	2-46

シートベルト

シートベルトの正しい着用	2-49
フロントシートベルト	2-52
リヤシートベルト	2-56
チャイルドシート	2-58
ISO-FIX固定バーおよびテザーアンカー	2-59

SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステム	2-70
SRSエアバッグが作動するとき、しないとき	2-76
SRSエアバッグ警告灯	2-84
車両の整備作業やカー用品を装着するときは、次の事項をお守りください	2-86

ミラーの調整

ルームミラー	2-87
ドアミラー	2-87

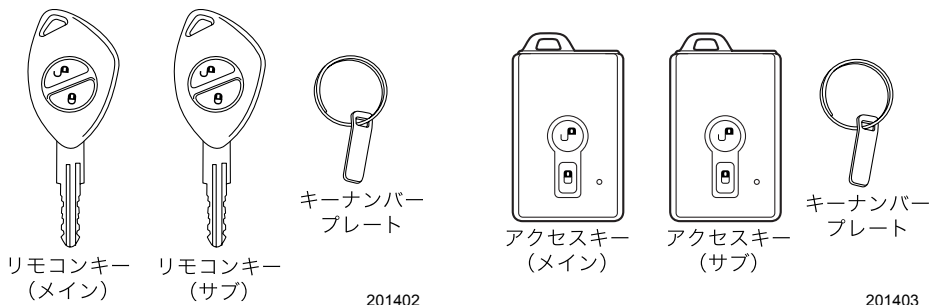
各部の開閉

キー

キーはドアの施錠、解錠、エンジンの始動、停止に使用します。

＜電波式リモコンドアロック装着車＞

＜キーレスアクセス&スタート装着車＞



- リモコンキーまたは、アクセスキーを使うと、ドアやリヤゲートの施錠、解錠がボタンで操作できます。
- キーナンバーは盗難防止のため、キーナンバープレートに打刻してあります。



アドバイス

- キーナンバープレートは、合いかぎを作る際に必要となりますので、大切に保管してください。
- 盗難防止のため、キーナンバープレートは車内に置かないでください。
- 万一に備えてキーナンバーをメモしておいてください。
- キーを作るときは、スバル販売店にご相談ください。
- 万一、キーを紛失したときは、盗難・事故などを防ぐため、直ちにスバル販売店にご相談ください。

ドア

■ ドアの開閉

ドアを開けるときは、ドアハンドルを引き上げ、手前に引きます。

ドアを閉めるときは、確実に閉め、半ドアになっていないことを確認してください。

注意

- ドアを開けるときは周囲の安全を十分に確認してください。不用意に開けると後続車、自転車、オートバイなどにぶつかることがあります危険です。
- ドアは確実に閉めてください。半ドアでは開くことがあります危険です。
- ドアを閉めるときは、手や指などを挟まないようにご注意ください。

アドバイス

- ドアハンドルを操作するときには、爪などを挟まないよう気をつけてください。
 - 車から離れるときは、エンジンを止めドアを必ず施錠してください。また、ドアを施錠する前にキーを持っていることを確認してください。
 - 施錠しても車内に貴重品などを置かないようにしてください。
 - 以下の状態で運転席ドアを開けるとブザーが鳴ります。
 - －キーを差したままのとき
 - －エンジンスイッチがⅠ以外のとき(キーレスアクセス&スタート装着車)
 - －ランプが点灯したままのとき
 ただし、エンジンスイッチがONまたはⅢのときは鳴りません。
- ☆2-21、3-6、3-7ページ参照
- 乗車中の施錠、解錠については次のような特徴がありますので選択し、ご使用ください。

施錠している場合

- お子さまなどの同乗者が誤ってドアを開けることを防ぎます。
- 停車時、車外からの不意の侵入者を防ぎます。
- シートベルトの着用と併せ、事故時に車外に投げ出される可能性が少なくなります。

解錠している場合


万一の事故の場合、車外からの救援活動が受けやすくなります。

■電波式リモコンドアロックによる施錠・解錠

電波により、車から離れたところ（約1 m）から全ドア（リヤゲートを含む）の施錠・解錠ができます。

☆キーレスアクセス&スタート装着車は2-18ページをご覧ください。


●施錠

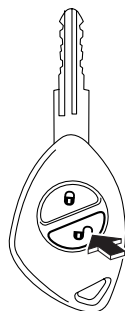
車のまわりからリモコンキーの  ボタンを押すと全てのドア（リヤゲートを含む）が施錠します。このとき非常点滅灯（ハザードランプ）が1回点滅します。



200023

●解錠

車のまわりからリモコンキーの  ボタンを押すと全てのドア（リヤゲートを含む）が解錠します。このとき非常点滅灯（ハザードランプ）が2回点滅します。



200022



アドバイス

- 車から離れるときは、ドアハンドルを引き、半ドアになっていないことを確認してください。
- 作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられますので早めに電池を交換してください。

☆6-40ページ参照

●非常点滅灯（ハザードランプ）の点滅のカスタマイズ

解錠時や施錠時に点滅する非常点滅灯の設定を変更することができます。

☆1-2ページ参照

●自動施錠

解錠してから30秒以内にドアまたはリヤゲートを開けなかった場合は、自動的に施錠されます。

▼自動施錠のカスタマイズ


自動施錠の作動あり / 作動なしの設定と施錠されるまでの時間の設定を変更することができます。

☆1-2ページ参照

●ルームランプとカーゴルームランプの連動

リモコンキーにより解錠またはドアの開閉を行うとルームランプ（DOOR 位置の場合）とカーゴルームランプが約30秒間点灯し、消灯します。

点灯中以下の操作をするとルームランプとカーゴルームランプは消灯します。

- リモコンキーの  ボタンを押して、ドアを施錠した場合
- エンジンスイッチにキーを差し込んだ場合

▼ルームランプとカーゴルームランプ連動のカスタマイズ


ルームランプとカーゴルームランプ連動の作動あり / 作動なしの設定を変更することができます。

☆1-2、4-48ページ参照

●ウェルカムランプ

リモコンキーによりドアの解錠を行うとエントランスランプとルームランプおよびエンジンキー照明が約30秒間点灯し、消灯します。

点灯中以下の操作をするとエントランスランプとルームランプおよびエンジンキー照明は消灯します。

- リモコンキーの  ボタンを押して、ドアを施錠した場合
- エンジンスイッチにキーを差し込んだ場合

▼エントランスランプとルームランプおよびエンジンキー照明のカスタマイズ

エントランスランプとルームランプおよびエンジンキー照明点灯の作動あり / 作動なしの設定を変更することができます。

☆1-2、3-18、4-48、4-51ページ参照

⚠ 注意

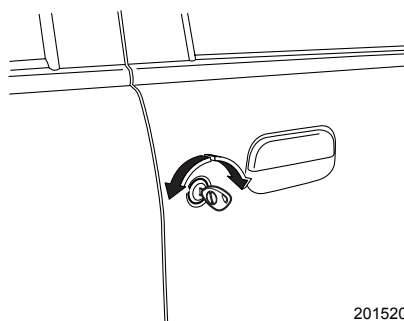
- 航空機内はリモコンキーなどの無線機器の使用が禁止されています。航空機内ではキーのボタンを押さないでください。
- リモコンキーには電子部品が組み込まれています。故障を防ぐため、次のことをお守りください。
 - － ダッシュボードの上など直射日光が当たったり高温になる場所には絶対に放置しないでください。電池の損傷や回路故障の原因になります。
 - － 強い衝撃を与えないでください。
 - － 電池交換時以外は分解しないでください。電池交換の際は電池のショートおよび⊕、⊖の方向に注意してください。
 - － 水にぬらさないでください。水にぬれた場合はすみやかに拭き取り、十分に乾かしてください。

🏠 アドバイス

- 電波式リモコンドアロックは車の周囲約1m以内で作動しますが、周囲に強い電波やノイズがある場合（例：TV塔や発電所、放送局、無線機器使用場所など）は、作動距離が変わることがあります。
- 車を離れるときは、ドアハンドルを引いて施錠を確認してください。
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているときやドアまたはリヤゲートが開いているときや半ドアの場合、作動しません。
- リモコンキーを紛失した場合、またはスペアリモコンキーが必要な場合はスバル販売店にご相談ください。
- リモコンキーを紛失した場合は盗難などを防ぐため、リモコンの再登録をお奨めします。リモコンの再登録をするときはスバル販売店にご相談ください。

■ 車外からキーによる施錠・解錠

キーを確実に差し込んで車の後ろ側に回すと施錠され、前側に回すと解錠されます。



201520

🏠 アドバイス

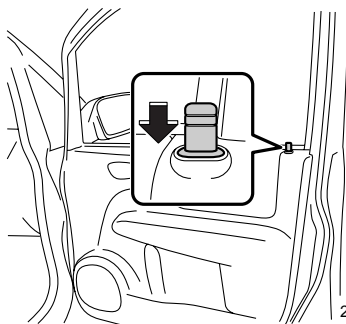
- 車外から施錠・解錠できるのは運転席ドアだけです。その他のドアはドアロックノブまたは集中ドアロックスイッチで施錠・解錠してください。
- 盗難警報装置を作動させた状態でキーによる解錠を行うと警報が作動します。
- キーによる施錠では、盗難警報装置は作動しません。

☆2-24ページ参照

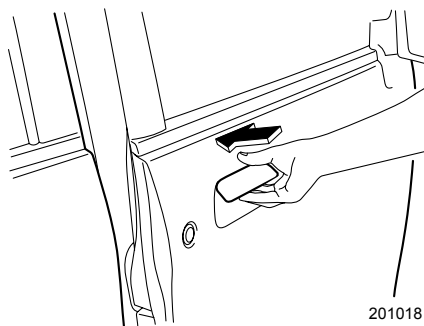
■キーを使わない車外からの施錠

●フロントドア

- ① ドアを開けドアロックノブを下げます。

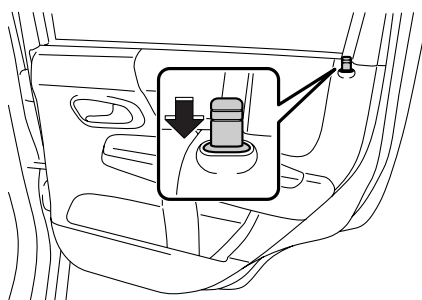


- ② ドアハンドルを引き上げたままドアを閉めます。





●リヤドア

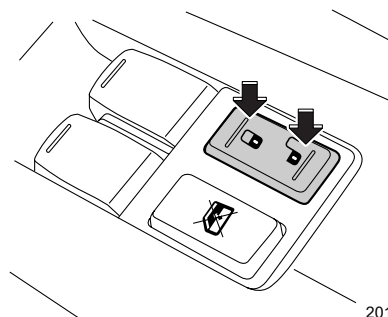
ドアを開けドアロックノブを下げてもドアを閉めます。



201019

■車内から集中ドアロックによる施錠・解錠

運転席ドアの集中ドアロックスイッチの  側を押すと全てのドアが施錠されます。 側を押すと全てのドアが解錠されます。リヤゲートも同時に施錠・解錠されます。



201015

注意

ドアロックノブで運転席ドアを施錠または解錠しただけでは集中ドアロックは作動しません。必ず集中ドアロックスイッチで施錠または解錠してください。


●キー閉じ込み防止機能

エンジンスイッチにキーが差し込まれている場合、ドアを施錠しないように働き、キーを車内に残したままになることを防止する機能です。

この機能の初期設定は作動なしとなっております。この機能を使用する場合、キー閉じ込み防止機能の設定を作動ありに設定してください。

☆1-2ページ参照

▼キー閉じ込み防止機能が作動するとき

- ドアを開けた状態で、集中ドアロックスイッチの  側を押した場合、キー閉じ込み防止機能が作動します。

▼キー閉じ込み防止機能が作動しないとき

- ドアロックノブで施錠し、ドアを閉めたとき
- 車外から合いかぎを使い施錠したとき

▼キー閉じ込み防止機能のカスタマイズ

キー閉じ込み防止機能の作動あり/作動なしの設定を変更することができます。

☆1-2ページ参照

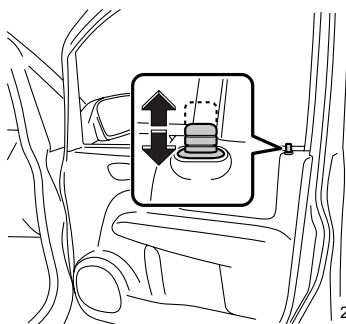


アドバイス

車外に出るときには、必ずキーを持っていることを確認して施錠してください。

■車内からドアロックノブによる施錠・解錠

ドアロックノブを下げると施錠され、上げると解錠します。



201017

キーレスアクセス&スタート

キーレスアクセス&スタートはアクセスキーを携帯することにより、ドアハンドルとリヤゲートハンドルの周囲約40～約80 cmに近づくと、キーを取り出すことなく解錠、離れると施錠が行えるシステムです。また、アクセスキーを携帯して車内に入ると、エンジンの始動および停止も行うことができます。また、従来どおりの電波式リモコンドアロックもアクセスキーのボタン操作により使用できます。

☆エンジンの始動方法は3-31ページをご覧ください。

警告

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の機器を装着されているかたは、車両側発信アンテナから約22 cm以内の範囲に植込み型心臓ペースメーカーなどを近づけないようにしてください。車両側発信アンテナの電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。

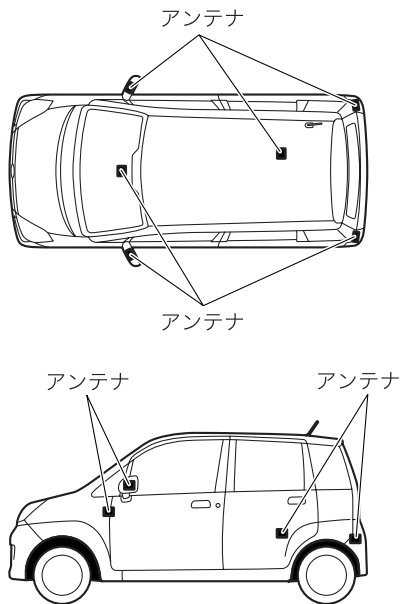
植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を装着されているかたは、後述の“キーレスアクセス&スタートで使用している電波について”を参考に医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。車両側発信アンテナの電波により医療用電気機器の作動に影響を与えるおそれがあります。

- キーレスアクセス&スタート機能の作動あり/作動なしを設定することができます。詳しくはスバル販売店にご相談ください。

キーレスアクセス&スタートで使用している電波について

- キーレスアクセス&スタートでは、以下規則により定められた微弱電波を使用しております。
 - － 電波法施行規則第6条第1項第1号
- キーレスアクセス&スタート機能は、従来の電波式リモコンドアロック機能の電波に加え、下記周波数の電波（※1）を使用しています。その電波は次のイラストの車両側アンテナから周期的に出力しています。

※1 電波周波数：125 kHz



201087

⚠ 注意

キーレスアクセス & スタートシステムでは微弱な電波を使用しているため、次のようなアクセスキーの状態、周囲の状況によっては、アクセスキー・車両間の通信の妨げとなり、施錠・解錠およびエンジンの始動ができなくなることがあります。

- 近くに放送施設、送電線などの強い電波を発生する設備があるとき
- 他の車両のアクセスキーまたはリモコンキーなどの電波を発信するような製品を使用しているとき
- アクセスキーの近くに携帯電話などの無線通信機があるとき
- アクセスキーの電池が消耗しているとき
- アクセスキーを次のような製品と同時に携帯しているとき
 - －他の車両のアクセスキーまたはリモコンキー
 - －複数のアクセスキー
 - －パソコンや携帯情報端末（PDAなど）
 - －デジタルオーディオプレーヤー
 - －ポータブルゲーム機器

次ページへ ⇒

⇒前ページより

- アクセスキーが次のような金属製のものに接していたり、覆われたりしているとき
 - － アクセサリー
 - － アルミ箔などの金属の貼られたカード
 - － アルミ箔を使用したタバコの箱
 - － 金属製の財布やカバン
 - － 小銭
 - － カイロ
 - － CDやDVDなどのメディア

アクセスキーを車室内（例えば、インストルメントパネルの上、物入れ、シートの上など）または車両周辺 2 m 以内（例えば、車庫での保管など）に絶対に放置・保管しないでください。

アクセスキーの位置によってはエンジンスイッチを回せなかったり、勝手に施錠・解錠し、盗難やキー閉じ込みにあうおそれがあります。また、施錠・解錠を繰り返し、バッテリー上がりや、アクセスキーの電池切れの原因となる場合があります。

- 長期間お車を使用しないとき、機能自体を使用しないとき、やむをえずアクセスキーを車室内や車の周辺に保管したいときは、キーレスアクセス機能を停止させることができます。詳しくはスバル販売店にご相談ください。
- アクセスキーには電子部品が組み込まれています。故障を防ぐため、次のことをお守りください。
 - － アクセスキーの電池は、お客様ご自身で交換することができますが、交換の際に破損などのおそれがあるためスバル販売店での変換をお奨めします。
 - － 水にぬらさないでください。水にぬれた場合はすみやかに拭き取り、十分に乾かしてください。
 - － 強い衝撃を与えないでください。
 - － 磁気を帯びた物に近づけないでください。
 - － ダッシュボードの上など直射日光が当たったり高温になる場所には絶対に放置しないでください。電池の損傷や回路故障の原因になります。
 - － 超音波洗浄機などで洗浄しないでください。
 - － 湿気やホコリが多い場所に放置しないでください。アクセスキー故障の原因となります。
 - － パソコン、家電製品の近くに放置しないでください。アクセスキーが誤作動し、電池切れの原因となります。
- アクセスキーは車両との通信のために、常時受信動作をし、常に電池を消耗しています。電池の寿命は使用状況によりますが、約1年です。電池が切れた場合、新しい電池と交換してください。

☆6-42ページ参照

- アクセスキーを落下させた場合、内蔵されているメカニカルキーが外れることがあります。メカニカルキーの紛失にご注意ください。

☆2-23ページ参照

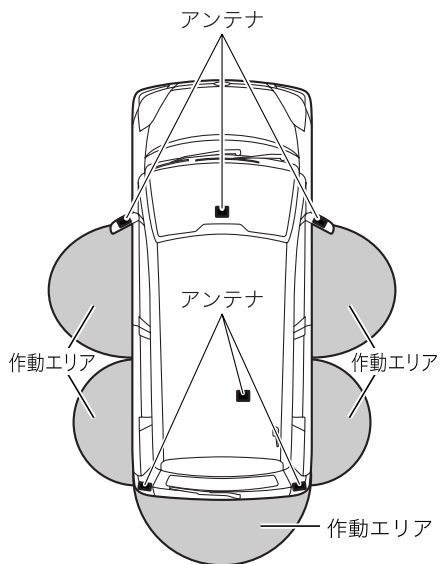
- 航空機内はアクセスキーなどの無線機器の使用が禁止されています。航空機内ではアクセスキーのボタンを押さないでください。

アドバイス

- アクセスキーを紛失した場合は盗難などを防ぐため、アクセスキーの再登録をお奨めします。アクセスキーの再登録をするときはスバル販売店にご相談ください。
- スペアのアクセスキーが必要な場合はスバル販売店にご相談ください。
- アクセスキーは最大4つまで登録できます。
- アクセスキーに付属のキーナンバープレートは大切に保管してください。車両修理やアクセスキーの追加登録などで必要になります。
- アクセスキーはドアポケットやダッシュボードなどの車内の収納場所に放置しないでください。(振動による破損や勝手にスイッチが入って閉じ込める危険性があります)

■キーレスアクセス機能の作動エリア

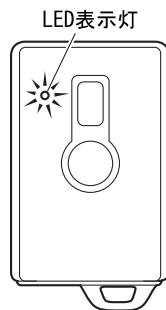
ドアの施錠・解錠機能の作動エリアは、ドアハンドルとリヤゲートハンドルを中心に約40～80 cmが目安となります。(運転席ドアハンドルの場合)




201105

作動エリアに入ると、アクセスキーのLEDの表示灯が点滅します。この機能は、スバル販売店で作動あり/作動なしの設定ができます。

☆1-2ページ参照



201405

 アドバイス

- エンジンスイッチを **I** にし、いずれのドアも開けていない場合は作動しません。

☆3-2ページ参照

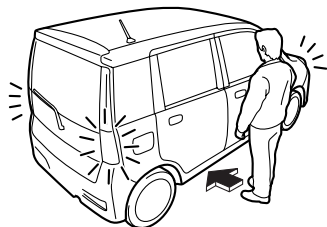
- アクセスキーをいろいろな位置に動かし、あらかじめ作動エリアを覚えておくと便利です。
- 乗車時、アクセスキーの位置によっては、勝手に施錠・解錠することがありますが、エンジンスイッチを **II** にすると停止します。
- リモコンエンジンスターターによるエンジン暖機中は、作動エリアが狭くなる場合があります。
- アクセスキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所(例：TV塔や発電所、放送局、無線機器使用場所など)、携帯電話通話中は、作動エリアが狭くなったり、作動しないこともあります。

■キーレスアクセス機能の使い方

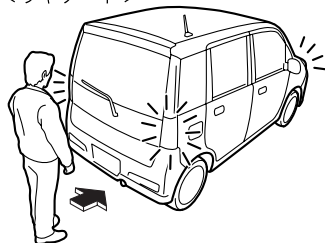
●解錠

アクセスキーを携帯し、作動エリアに入ってください。全てのドア（リヤゲート含む）が解錠します。このときブザーが2回鳴り、非常点滅灯（ハザードランプ）が2回点滅します。

<ドア>



<リヤゲート>



201724



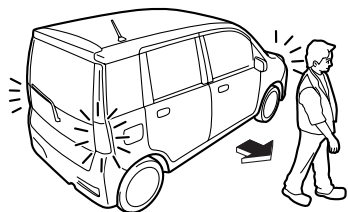
アドバイス

アクセスキーを作動エリアに急に接近させた場合や、急なドアハンドル操作では解錠できない場合があります。その際は、ドアハンドルを一度もどし、解錠されたことを確認してから再度ドアハンドルを引いてください。

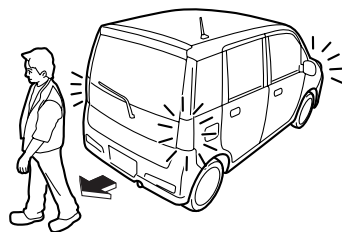
●施錠

アクセスキーを携帯し、全てのドアを閉めてから作動エリアを出てください。約2～3秒後に全てのドア（リヤゲート含む）が施錠します。このときブザーが1回鳴り、非常点滅灯（ハザードランプ）が1回点滅します。

<ドア>



<リヤゲート>



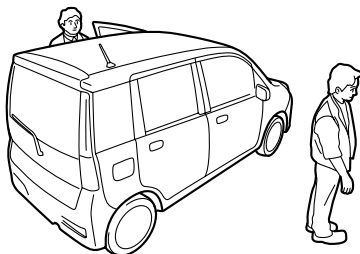
201725

🏠 アドバイス

車を離れるときは、施錠を確認してください。

以下に示す内容は、施錠忘れの原因となりますので、充分にお読みいただきご理解ください。

- ドアを開けたまま作動エリアから出た場合は施錠されません。ドアが閉まったことを確認して作動エリアから出てください。
- 施錠は、全てのドアを閉め、作動エリアから出て約2～3秒後に作動します。作動前にいずれかのドアを開けると施錠しません。その場合は、全てのドアを閉めた後、一旦作動エリアに入り、作動エリアから出てください。



201022

●非常点滅灯（ハザードランプ）の点滅のカスタマイズ

解錠時や施錠時に点滅する非常点滅灯の設定を変更することができます。

☆1-2ページ参照

●アンサーバックブザーのカスタマイズ



解錠時や施錠時に鳴るアンサーバックブザーの作動あり / 作動なしの設定を変更することができます。

☆1-2ページ参照

●ルームランプとカーゴルームランプの連動

アクセスキーにより解錠またはドアの開閉を行うとルームランプ（DOOR 位置の場合）とカーゴルームランプが約30秒間点灯し、消灯します。

点灯中以下の操作をするとルームランプとカーゴルームランプは消灯します。

- アクセスキーの  ボタンを押して、ドアを施錠した場合
- エンジンスイッチを  にした場合

▼ルームランプとカーゴルームランプ連動のカスタマイズ



ルームランプとカーゴルームランプ連動の作動あり / 作動なしの設定と点灯時間の設定を変更することができます。

☆1-2、4-48、4-49ページ参照

●ウェルカムランプ

アクセスキーによりドアの解錠を行うとエントランスランプとルームランプが約30秒間点灯し、消灯します。

点灯中以下の操作をするとエントランスランプとルームランプは消灯します。

- アクセスキーの  ボタンを押して、ドアを施錠した場合
- エンジンスイッチを  にした場合

▼ウェルカムランプのカスタマイズ

エントランスランプとルームランプ点灯の作動あり / 作動なしの設定を変更することができます。

☆1-2、3-18、4-48、4-51ページ参照

■キーレスアクセス&スタート機能の停止方法


長期間お車を使用しないとき、機能自体を使用しないとき、やむをえずアクセスキーを車内や車の周辺に保管したいときは、スバル販売店でキーレスアクセス&スタート機能を停止させることができます。

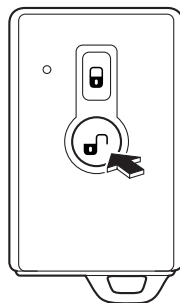
詳しくはスバル販売店にご相談ください。

■アクセスキーのボタン操作による操作方法 (電波式リモコンドアロック)

アクセスキーのボタンを押すと電波により、車から離れたところ (約1 m) から全ドア (リヤゲート含む) の解錠・施錠もできます。


●解錠

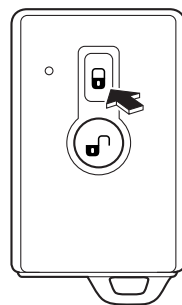
車のまわりからアクセスキーの  ボタンを押すと全てのドア (リヤゲート含む) が解錠します。このときブザーが2回鳴り、非常点滅灯 (ハザードランプ) が2回点滅します。



201406

●施錠

車のまわりからアクセスキーの  ボタンを押すと全てのドア（リヤゲート含む）が施錠します。このときブザーが1回鳴り、非常点滅灯（ハザードランプ）が1回点滅します。





201407

●自動施錠

解錠してから30秒以内にドアまたはリヤゲートを開けなかった場合は、自動的に施錠されます。



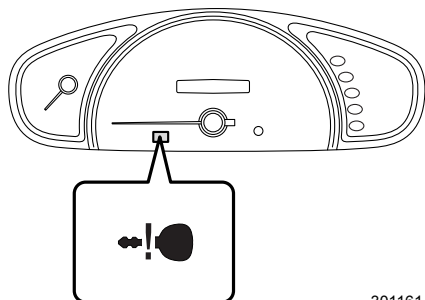
アドバイス

- 車の周囲約1 m以内で作動しますが、周囲に強い電波やノイズがある場合（例：TV塔や発電所、放送局、無線機器使用場所など）は、作動距離が変わることがあります。
- 車を離れるときは、施錠を確認してください。
- アクセスキーを紛失した場合は盗難などを防ぐため、アクセスキーの再登録をお奨めします。アクセスキーの再登録をするときはスバル販売店にご相談ください。
- エンジンスイッチが  または  のときやドアまたはリヤゲートが開いているときは作動しません。
- 非常点滅灯の作動あり / 作動なし、ブザーの作動あり / 作動なし、およびルームランプの点灯時間はスバル販売店で設定が出来ます。詳しくはスバル販売店にご相談ください。

☆2-17ページ参照

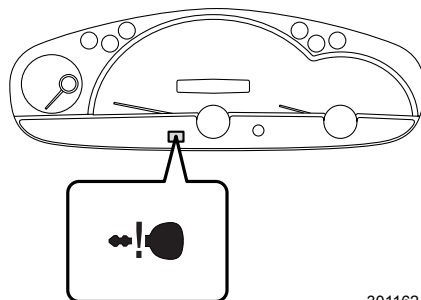
■警告音および警告表示による警報

タイプAメーター



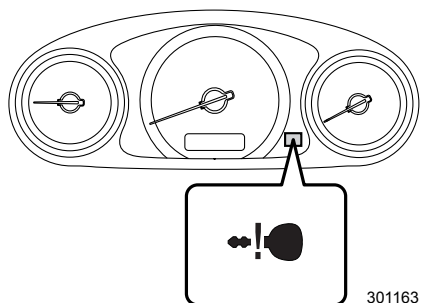
301161

タイプBメーター




301162

タイプCメーター



301163

●キー無し警告

アクセスキーが車内にない場合、エンジンスイッチを  で押し込むと、キー無し警告灯が点滅します。

アドバイス

- アクセスキーを携帯しエンジンスイッチを操作してください。
 - アクセスキーが車内検知エリア内にあっても、アクセスキーの状態、周囲の状況によってはキー無し警告表示する場合があります。
- ☆3-2ページ参照
- エンジンスイッチにメカニカルキーが差し込まれているときは警告しません。

●キー持ち出し警告

エンジンスイッチが□以外の位置にあるとき、アクセスキーを携帯した状態で車外に出てドアを閉めた場合、警告音が鳴り、キー無し警告灯が点滅します。

☆3-2ページ参照



アドバイス

アクセスキーを窓から外へ出したときやエンジンスイッチにメカニカルキーが差し込まれているときは警告しません。

●エンジンスイッチ戻し忘れ警告

エンジン停止後、エンジンスイッチが□以外の位置にあるとき、運転席ドアを開けるとブザーが鳴り、キー無し警告灯が点滅します。また、エンジンスイッチが□以外で運転席以外のドアを開けるとキー無し警告灯が点滅します。

エンジンスイッチが□以外で警告が作動中、ドアを閉めるとブザー（3秒間）が鳴ります。

☆3-2ページ参照



アドバイス

- エンジンスイッチが□のときは警告しません。
- エンジンスイッチを□にして車の外に出てください。
- エンジンスイッチにメカニカルキーが差し込まれているときは警告しません。

●アクセスキー電池残量警告

エンジンスイッチを□にしてから約20分以上経過し、その後エンジンスイッチを□にしたときにアクセスキーの電池残量が低下している場合、キー無し警告灯が点滅します。



アドバイス

キー無し警告灯が6秒間点滅した場合は、アクセスキーの電池を交換してください。

☆6-42ページ参照

●キーレスアクセス&スタートシステム異常警告







エンジンスイッチを押し込んだときにキーレスアクセス&スタートシステムまたはステアリングロックシステムに異常がある場合、キー無し警告灯が点灯します。



注意

キー無し警告灯が点灯した場合は、直ちにスバル販売店にご連絡ください。

●警告一覧表

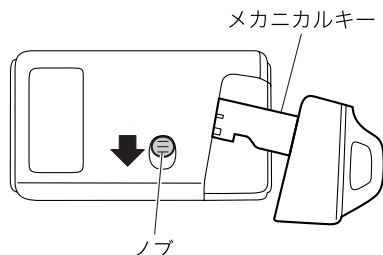
警告	室内ブザー警報	室外ブザー警報	メーター内キー無し警告灯表示	状況	対処方法
キー無し警告	—	—	 (点滅)	車内にアクセスキーがない状態でエンジンスイッチを□で押し込んだ。	アクセスキーを携帯してエンジンスイッチを押してください。
キー持ち出し警告	ピー (1秒間吹鳴)	ピッピッピッ (3回吹鳴)	 (点滅)	エンジンスイッチが□以外で、アクセスキーを携帯した状態で車外に出てドアを開めた。	アクセスキーを車内に戻すか、電源をOFFにしてください。
エンジンスイッチ戻し忘れ警告	ピーツ、ピーツ、 ・・・ (断続吹鳴)	ピー (ドアを閉めた後 3秒間吹鳴)	 (30秒間点滅)	エンジン停止後、エンジンスイッチが□以外のとき、運転席のドアを開けた。	エンジンスイッチを□にした上で車外に出てください。
	—	ピー (ドアを閉めた後 3秒間吹鳴)	 (30秒間点滅)	エンジン停止後、エンジンスイッチが□以外のとき、運転席を除くいずれかのドアを開けた。	ドアを閉めるかエンジンスイッチを□にした上で車外に出てください。
アクセスキー電池残量警告	—	—	 (6秒間点滅)	アクセスキーの電池残量が低下している。	アクセスキーの電池を交換してください。
キーレスアクセス & スタートシステム異常警告	—	—	 (点灯)	キーレスアクセス & スタートシステムまたはステアリングロックシステムに異常が検出された。	直ちにスバル販売店に連絡し、点検を受けてください。

■アクセスキーが正常に作動しないとき

強い電波ノイズがある場合や、アクセスキーの電池残量が少なくなり施錠・解錠ができなくなった場合は、メカニカルキーで施錠・解錠を行ってください。

アクセスキーのノブを引きながらメカニカルキーを取り出します。

メカニカルキーで運転席ドアを解錠します。



201401

運転する前に

🏠 アドバイス

- 盗難警報装置が作動している場合は警報が鳴ります。
アクセスキーの電池が少ない状態で警報が作動した場合は「アクセスキーが正常に作動しないときのエンジン始動」を参照して電源ONまたはエンジン始動をしてください。

☆3-32ページ参照

- 施錠・解錠に使った後、外したメカニカルキーは必ず元の位置（アクセスキー）へ付けてご使用ください。
- 電池がなくなった場合はアクセスキーの電池を交換してください。

☆6-42ページ参照

盗難警報装置

キーレスエントリー（キーレスアクセス機能、電波式リモコンドアロック）以外でドア（リヤゲート含む）が開けられたとき、以下の警報で周囲に異常を知らせます。

- 30秒間、車両ホーンが鳴り、非常点滅灯（ハザードランプ）が点滅します。

☆2-4、2-10、2-18ページ参照

この機能の初期設定は作動なしとなっております。この機能を使用する場合、警報の設定を作動ありに設定してください。

☆2-26ページ参照

注意

盗難警報装置は特定条件で作動し警報などで周囲に知らせる装置であり、盗難を防止するものではありません。


車から離れるときは、車内に金品、貴金属などを置かないでください。


アドバイス

- 30秒間鳴り続けた後も、ドアが開いたままになっている場合、最長3分間、警報が鳴り続けます。また、ドアを閉めると最長30秒後には警報は止まります。
- 一旦、盗難警報装置を監視状態にすると、キーレスエントリー（キーレスアクセス機能、電波式リモコンドアロック）以外では解除できません。

●盗難警報装置を監視状態（警報が作動する状態）にするには


電源をOFFにして、全てのドアを閉めます。以下の操作で施錠すると約30秒の待機時間（監視を行わない状態）の後、監視状態に入ります。

- アクセスキーを携帯してキーレスアクセスの作動エリアから出る
- アクセスキーまたはリモコンキーの  ボタンを押す


監視状態に入るとメーター内のセキュリティ表示灯  が2回連続の点滅を繰り返します。この方法以外（キーによる施錠、車内からキーを使わず施錠）では盗難警報装置は作動しません。



☆2-6ページ参照

🏠 アドバイス

- 待機状態中は、セキュリティ表示灯がすばやく点滅します。
- 30秒の待機状態中に次のことを行った場合、監視状態には移りません。
 - － キーレスエントリーでドアを解錠したとき
 - － いずれかのドア（リヤゲートも含む）を開けたとき
 - － アクセスキーを携帯しエンジンスイッチをにしたとき（キーレスアクセス&スタート装着車）
 - － エンジンスイッチをONにしたとき（キーレスアクセス&スタート装着車以外）
- 30秒の待機状態の時間を待機時間なしに設定変更ができます。詳しくはスバル販売店にご相談ください。
- 自動施錠の機能が作動した場合にも盗難警報装置が監視状態に移ります。
☆2-5、2-19ページ参照
- 監視状態のまま、バッテリーが上がったときは、キーレスエントリーでは解錠できません。このときはキーまたはメカニカルキーを使用して解錠しますが、バッテリーを充電、もしくは新品に交換した際に監視状態で復帰しますのでドアを開けたままにしておいたり、そのままドアを開けると警報が作動します。
- キーレスアクセス機能や電波式リモコンドアロックによる施錠や自動施錠時、ドアを施錠動作の直前で開くと警報が鳴り始める場合があります。

●盗難警報装置の監視状態を解除するには

以下の操作を行うと監視状態が解除されます。解除されるとメーター内のセキュリティ表示灯は消灯します。

- アクセスキーを携帯してキーレスアクセスの作動エリアに入る
- アクセスキーまたはリモコンキーのボタンを押す
- アクセスキーを携帯しエンジンスイッチをにする（キーレスアクセス&スタート装着車）
- エンジンスイッチをONにする（キーレスアクセス&スタート装着車以外）

🏠 アドバイス


ドアのキーシリンダーにキーまたはメカニカルキーを差し、回して解錠もしくは車内からキーを使わず解錠した場合、盗難警報装置は解除されません。そのままドアを開けてしまうと警報が作動します。

☆2-6、2-23ページ参照


●警報を作動させてしまったときには

解除方法として以下のいずれかの操作をすると解除できます。

▼キーレスアクセス&スタート装着車

- アクセスキーのいずれかのボタンを押す
- エンジンスイッチをにする

アドバイス

アクセスキーの電池残量が少なくなった場合は、アクセスキーに内蔵のメカニカルキーを使ってにしてください。

☆3-32ページ参照

▼キーレスアクセス&スタート装着車以外




- リモコンキーのいずれかのボタンを押す
- エンジンスイッチにキーを差し込み、エンジンスイッチをONにする

●警報の設定

盗難警報装置は作動あり、作動なしの設定に切り替えることができます。以下の方法で切り替えることができます。

- ① 盗難警報装置の監視状態を解除してください。

☆2-25ページ参照

- ② 運転席に座り、全てのドア（リヤゲート含む）が閉まっていることを確認してください。
- ③ エンジンスイッチをまたはONにしてください。
- ④ 集中ドアロックスイッチの側を押すと同時（1秒以内）にいずれかのドア（リヤゲート含む）を開け、側を押したまま10秒間保持してください。
- ⑤ ホーンが鳴り設定が切り替わります。



作動なし：ホーンが2回鳴ります。

作動あり：ホーンが1回鳴ります。

アドバイス

この設定は、スバル販売店でもできます。
詳しくは、スバル販売店にご相談ください。

●警報の作動履歴

警報が作動した場合、エンジンスイッチをまたはONにすると、セキュリティ表示灯が1秒間点灯した後に5回点滅し、運転者に知らせます。

☆3-24ページ参照

アドバイス

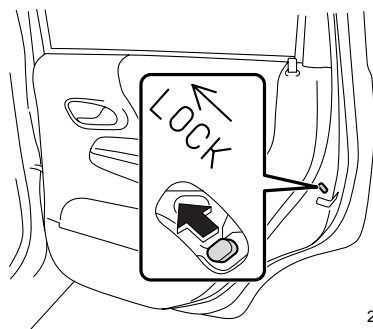
警報の作動履歴は、盗難警報装置を再度監視状態にすると消去されます。

チャイルドブローフ

左右のリヤドアにあります。後席にお子さまを乗せるときにご使用ください。

■使用方法

チャイルドブローフのレバーを矢印方向に動かしてドアを閉めると、車内のドアハンドルではリヤドアを開けられなくなります。解除するときはレバーを矢印とは逆方向に動かしてください。



201026

運転する前に

■チャイルドブローフが働いているときのドアの開けかた

ドアを解錠し、車外からドアハンドルを引き上げて開けます。

車内から開けるときは、集中ドアロックスイッチを「UNLOCK」にして、ウィンドウを下げ車外のドアハンドルを引き上げて開けます。

パワーウィンドウ

- パワーウィンドウは、エンジンスイッチが \square または ON のとき使用できます。このとき運転席ウィンドウの作動表示灯が点灯します。

☆2-30ページ参照

🏠 アドバイス

バッテリー交換やヒューズ交換などで、バッテリーとの接続が断られたときは、必ずパワーウィンドウの初期設定をしてください。

初期設定がされないと運転席ウィンドウは自動で全開（全閉）しません。

☆2-30ページ参照

■スイッチの操作

●運転席ウィンドウの開閉操作方法

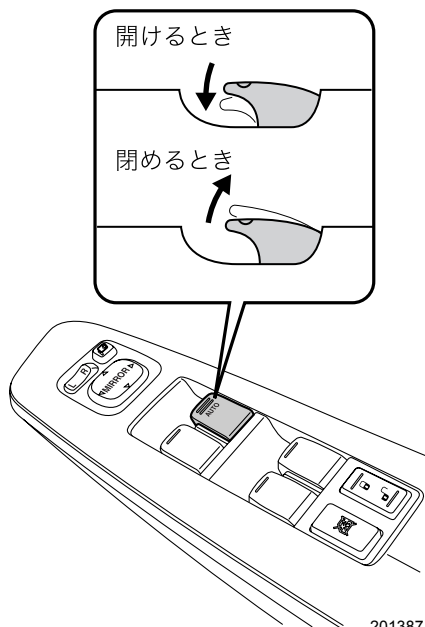
スイッチを軽く操作している間、作動します。強く操作すると、自動で全開（全閉）します。

開けるとき：

- スwitchを軽く押します。押している間ウィンドウが下降します。
- スwitchを強く押すと自動で全開になります。途中でウィンドウの下降を停止させるときは、スswitchを軽く引き上げます。

閉めるとき：

- スwitchを軽く引き上げます。引き上げている間ウィンドウが上昇します。
- スwitchを強く引き上げると自動で全閉になります。途中でウィンドウの上昇を停止させるときは、スswitchを軽く押します。

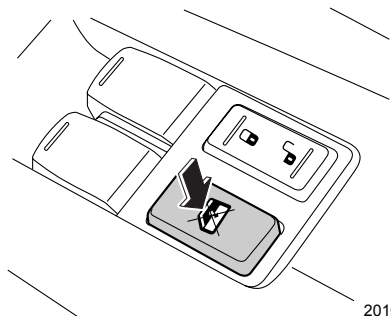


201387

●ロックスイッチの操作方法

ロックスイッチを押すと助手席と後席のウィンドウは開閉できなくなります。

もう一度スイッチを押すとロックは解除されます。



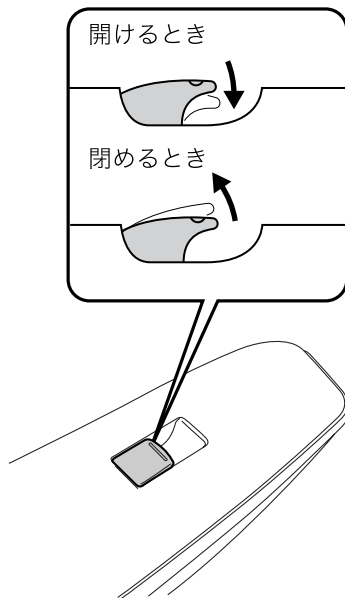
201025

●助手席、後席ウィンドウの操作方法

それぞれのウィンドウを開閉します。スイッチを操作している間作動します。

開けるとき：スイッチを押します。

閉めるとき：スイッチを引き上げます。



201388

■ウィンドウ反転機能

運転席のウィンドウが自動全閉中、窓枠とウィンドウとの間に異物の挟み込みを感知すると、ウィンドウの上昇が停止し、自動で少し下降し止まります。

⚠ 注意

- ウィンドウを確実に閉めるため、閉めきる直前の部分では、挟み込みを感知しない領域があります。指など挟まないように注意してください。
- ウィンドウ反転機能は自動全閉時のみ作動します。スイッチを引き続けた状態では作動しません。指など挟まないように注意してください。

アドバイス

- 環境、走行条件により異物を挟んだときと同じ衝撃がウインドゥに加わるとウインドゥ反転機能が作動することがあります。
- 故障などでウインドゥ反転機能が作動してしまい運転席ウインドゥを閉めることができない場合、スイッチを引き続けると閉めることができます。
- バッテリー交換やヒューズ交換などで、バッテリーとの接続が断たれたときは、必ずパワーウインドゥの初期設定をしてください。初期設定がされないと、ウインドゥ反転機能が作動しません。

■パワーウインドゥの初期設定

バッテリー交換やヒューズ交換などで、バッテリーとの接続が断たれたときは、必ずパワーウインドゥの初期設定を行ってください。パワーウインドゥの初期設定がされていないと、次の機能は作動しません。


- 運転席ウインドゥの自動全開（全閉）

☆2-28ページ参照

- ウインドゥ反転機能

☆2-29ページ参照

●初期設定のしかた

- ① ドアを閉め、エンジンスイッチを  またはONにします。
- ② 運転席ウインドゥスイッチを下に押し、半分くらいまでウインドゥを開けます。
- ③ 運転席ウインドゥスイッチを上を引き続け、ウインドゥを全閉にします。全閉後、約1秒間スイッチを上を引き続けてください。

警告

- パワーウインドゥが閉まるときには大きな力が働きます。挟まれると危険ですので閉める前に窓から顔や手を出していないことを確認してください。
- 挟まれると危険ですので小さなお子様には操作させないでください。
- お子さまを乗せるときにはロックスイッチをロックにしておいてください。お子さまがウインドゥスイッチをいたずらして手や首を挟むことを防止します。

☆2-28ページ参照

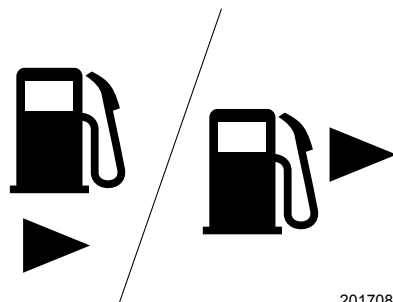
⚠ 注意

- ウィンドウの全閉、全開後に同じ方向にスイッチを押し続けしないでください。パワーウィンドウの故障の原因になります。
- 車両から離れる場合は、必ずお子さまも一緒にお連れください。お子さまのいたずらなどによる誤操作で、思わぬ事故につながるおそれがあります。

フューエルリッド（燃料補給口）

フューエルリッド（燃料補給口）が右側にあることをお知らせする表示があります。

- 使用燃料：無鉛レギュラーガソリン
- タンク容量：約30ℓ

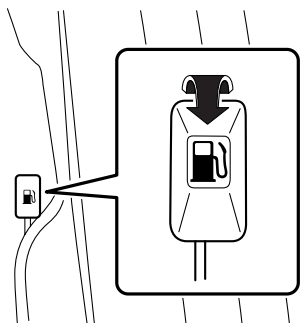


201708

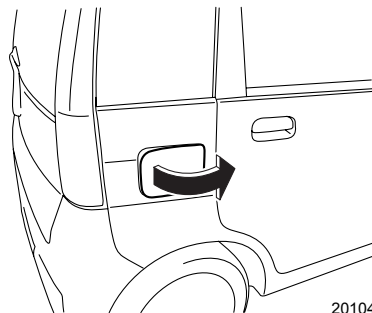
運転する前に

■フューエルリッド（燃料補給口）の開閉

開けるときは、運転席右下にあるフューエルリッドオープナーレバーを引きます。



200012

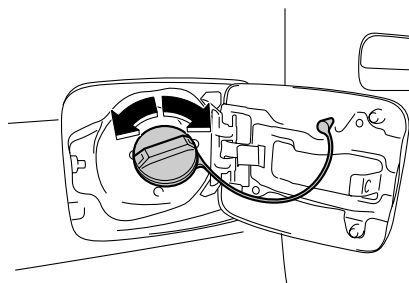


201040

閉めるときは、ロックするまでフューエルリッド（燃料補給口）を手で押し付けてください。

■フューエルキャップの開閉

フューエルキャップを左に回して開けます。
燃料補給後は、「カチッ、カチッ」と2回以上
音がするまで右に回して閉めます。



201041

⚠ 警告

燃料補給時には必ず次のことをお守りください。

- ガソリンは非常に着火しやすいため、燃料補給時はタバコなど一切の火気は厳禁です。
- エンジンは必ず止めてください。
- フューエルキャップを開けるときはゆっくり回し、燃料タンク内の圧力を下げてから外してください。急に開けると燃料が補給口から吹き返すおそれがあります。
- フューエルキャップは確実に閉めてください。閉まっていないと走行中に燃料が漏れて火災につながるおそれがあります。
- 静電気除去キャップを採用していますので、フューエルキャップは車に合ったスバル純正品を使用してください。

☆1-8ページ参照

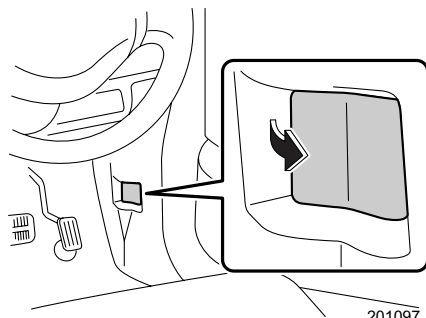
⚠ 注意

セルフ補給のときの燃料補給は、給油ガンが自動停止した時点で止めてください。

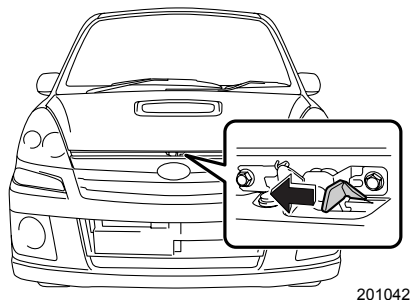
ボンネット

■開けるとき

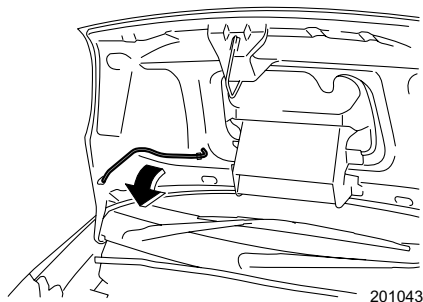
- ① ボンネットのオープナーレバーを引きます。
レバーは運転席側のインストルメントパネル右下にあります。



- ② フロントグリルとボンネットのすき間からレバーを左に押し、ロックを外し、ボンネットを開けます。



- ③ ボンネットの裏にあるステーをホルダーから外します。

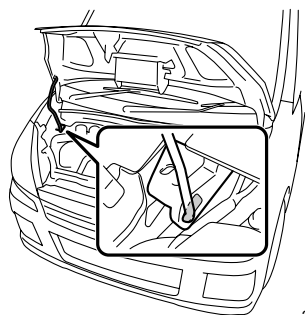


運転する前に

次ページへ ⇒

⇒前ページより

- ④ ステーをフェンダー横のストッパー穴に入れ、固定します。



201044

■閉めるとき

ステーを外してホルダーに収め、ボンネットをゆっくり降ろしてボディに近くなったら（約15 cm）手を離します。

⚠ 注意

ボンネットを開閉するときは次のことに注意してください。

- 走行後すぐに開けるときのには、部品が熱くなっているので、やけどしないように注意してください。
- ボンネットを開けるときのにはワイパーアームは起こさないでください。また、ワイパーを作動させないでください。ボンネットとワイパーアームが接触しボンネットを傷つけるおそれがあります。
- ボディ近くまで降ろして手を離す際には指や他の物を挟まないよう充分注意してください。
- ボンネットを閉めるときにはボンネットを上から強く押し付けしないでください。ボンネットがへこむことがあります。
- 必ず走行前にボンネットが確実にロックされていることを確認してください。
確実にロックされていないまま走行すると、走行中開くことがあり非常に危険です。
- 風の強いときには充分注意して開けてください。突然ステーが外れて閉まることがあります。

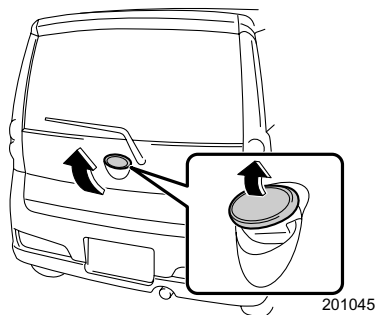
リヤゲート

リヤゲートは次を操作することで施錠、解錠ができます。

- 電波式リモコンドアロック
- 集中ドアロックスイッチ
- キーレスアクセス機能

■開けるとき

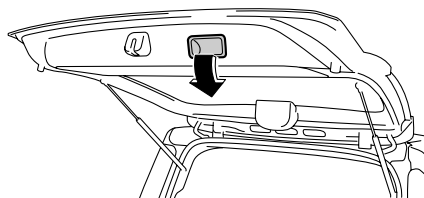
アウターハンドルを引いてリヤゲートを少し開けます。手で支えながらゆっくりと最上部（全開位置）まで持ち上げます。



運転する前に

■閉めるとき

リヤゲートをゆっくり下げて、上から手で押さえつけるように閉めます。半ドアでないことを確かめます。



注意

- 開閉や荷物の出し入れのとき、リヤゲートが頭や顔にぶつからないように注意してください。
- 走行前リヤゲートを完全に閉めてください。走行中に開くと荷物が落ちることがあります。
- 走行中や長時間のアイドルングをしているときはリヤゲートを完全に閉めてください。車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
- リヤゲートを閉めるときは、他の人の手（とくにお子さまには気をつけてください）や荷物を挟まないように注意してください。
- エンジンをかけたまま荷物の出し入れをするとき、排気ガスの熱でやけどをしないように注意してください。
- リヤゲートを支えているガスステー部にうすいビニール袋、テープなどが噛み込まないように、また、荷物の積み下ろしなどで傷をつけないように注意してください。ステーのガス抜けにより、ゲートが自然に閉じてしまう場合があります。
- リヤゲートにスバル純正品以外のアクセサリ用品を取り付けしないでください。リヤゲートの重量が極端に重くなると、開けたときにステーが支えきれなくなるおそれがあります。

アドバイス

リヤゲートを開閉するとき

- アウターハンドルを操作するときは、爪などを挟まないよう気をつけてください。
- キャリアなどに積んだ荷物に当たらないように気をつけて開けてください。
- 傾斜した場所では、平坦な場所よりもリヤゲートの開閉がしにくかったり、急に開閉してしまう場合があります。

シート

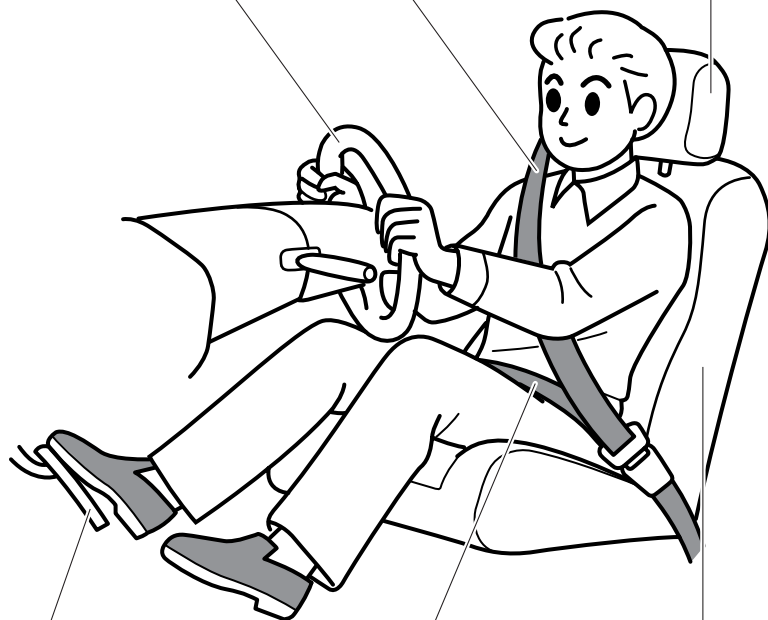
正しい運転姿勢

無理のない、正しい運転（乗車）姿勢がとれるようにシートを調整します。ミラーも調整します。そしてシートベルトを正しく装着します。

ハンドル操作が
楽にできること
（運転席）

ねじれ、たるみがなく
肩に充分かかること

ヘッドレストの中央が
耳の後方にくること



ペダルが十分に
踏み込めること
（運転席）

腰骨のできるだけ
低い位置に密着さ
せること

背当てではできるだけ立てて背中を
離さず、深く腰掛けること
（ハンドルに近づき過ぎないこと）

201390

警告

シートなどの調整は、次の事項を必ず守ってください。お守りいただかないと重大な傷害につながるおそれがあります。

- シート調整は、必ず走行を始める前に行ってください。とくに運転席は運転中に行わないでください。加速、減速でシートが動いてペダルに足が届かなくなる、背当てが倒れてハンドルに手が届かなくなる、運転への注意がそれ運転ミスを起こすなどの重大な事故や傷害につながるおそれがあります。
- シートを調整した後はシートを軽くゆすり「確実に固定されていること」を確かめてください。不完全なままではシートが動いたり、シートベルトの機能が十分に働かないことがあります。
- 走行中は助手席も含めて背当てを必要以上に倒さないでください。万一のとき、シートベルト本来の機能が発揮されないことがあります。
- 背当てと背中の中にクッションなどを入れしないでください。正しい運転姿勢がとれないため危険です。
- フロントシートの下に物を置かないでください。物が挟まってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ヘッドレストを外したり、固定できる高さを超えての使用は、万一のとき頭や首を保護できず重大な傷害につながるおそれがあります。ヘッドレスト中央が耳の後方になるように高さを調整してください。

注意

シートの調整は必ず大人が行い、シートや動いている部分に手を近づけないでください。また、同乗者や荷物にも注意してください。挟まれたり、荷物を損傷したりすることがあります。

アドバイス

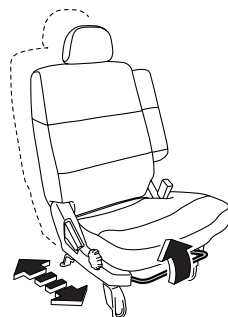
納車時のシートダストカバー（シート汚れ防止用のポリエチレン製カバー）やフロアマットの汚れ防止フィルムは必ず取り外してから使用してください。

フロントシート

シートのドア側と下部にあるレバーとダイヤル操作で調整ができます。

●スライド調整（前後の調整）

レバーを完全に引き上げた状態で前後に動かして調整します。レバーを下ろし、ロックを確認します。



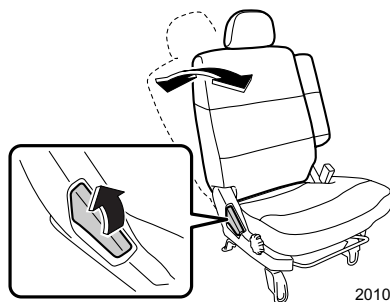
201052

⚠ 注意

後方にスライドする際には、後席の乗員の足が挟まれないように注意してください。

●リクライニング調整（背当て角度の調整）

レバーを完全に引き上げた状態で背当ての角度を調整します。レバーを下ろし、ロックを確認します。



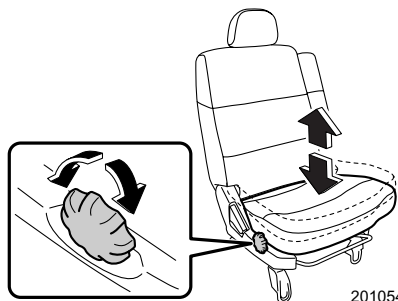
201053

⚠ 注意

- 調整する際には、レバーとレバーカバー内に指を挟まないよう気をつけてください。
- 背当てをを起こすときは、背当てを押さえながらゆっくりと戻してください。背当てが急に戻り、顔や身体にけがをするおそれがあります。

●上下調整（運転席のみ）

ダイヤルを前側に回すとシートクッションが下がり、ダイヤルを後ろ側に回すとシートクッションが上がります。



■アームレスト

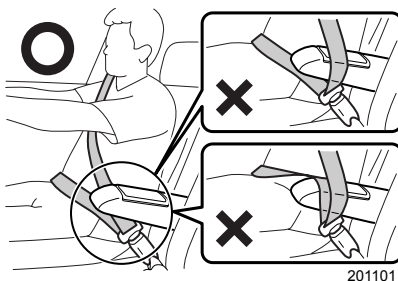
前に倒して使用します。



警告

アームレストを使用するときにはシートベルトの効果を発揮させるため、次の手順を必ず守り、正しく装着してください。

- ①最初にシートベルトを装着する。
- ②次にアームレストを下ろす。先にアームレストを下ろしてからシートベルトを着用すると、衝突時に腹部に当たり重大な傷害につながるおそれがあります。

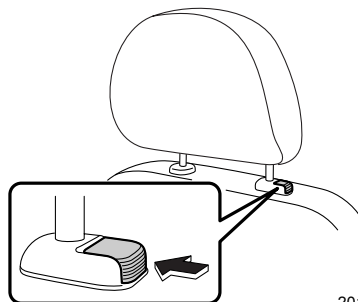


注意

- 上に乗ったり、重いものをのせないでください。アームレストが損傷したり、思わぬけがをすることがあります。
- アームレストボックスに物を入れているとき、アームレストの格納操作やシートのリクライニング調整、スライド調整を行うと、中に入れている物が落ちる場合があります。注意して操作を行ってください。

■ヘッドレストの高さ調整

- 上げるときはそのまま引き上げます。
- 下げるときは、固定解除ボタンを押したまま押し下げます。
- 取り外すときは固定解除ボタンを押したまま引き抜きます。



201523

警告

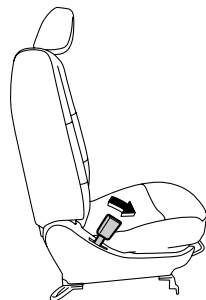
運転するときにはヘッドレストを確実に取り付けてください。外したり、固定できる高さを超えての使用は、万一のとき頭や首を保護できず重大な傷害につながるおそれがあります。ヘッドレスト中央が耳の後方になるように高さを調整してください。

■助手席マルチユーティリティシート（水平可倒機構）

助手席の背当てを前方に折りたたむことで、駐車中に小物を置くことができます。また、リヤシートの背当ても一緒に前方に倒すことで、長い荷物を積むことができます。

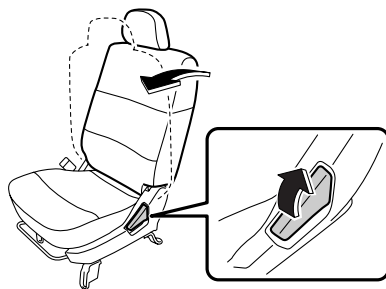
●背当てを折りたたむとき

① シートベルトのバックルを一番前に倒します。



201058

② ドア側レバーを引き上げた状態で、背当てを最前傾のロック位置に起こします。レバーを下ろし、ロックを確認します。



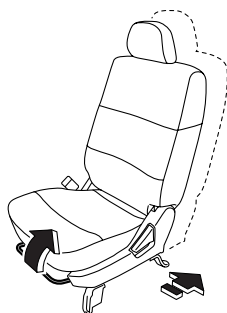
201055



アドバイス

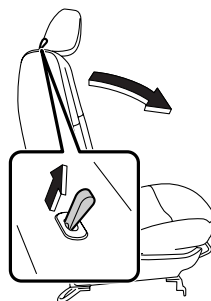
背当てを最前傾のロック位置よりも前に倒してしまったとき、背当てをゆっくりと後方に起こして背当てが最初にロックする位置（最前傾のロック位置）まで戻します。

- ③ 前席下部のレバーを引き上げた状態で、シートを後端付近まで動かします。



201056

- ④ 背当て上面のストラップを引き上げた状態で、背当てを前に折りたたみます。



201062

- ⑤ シートを前後に軽くゆすり、確実に固定されていることを確かめます。

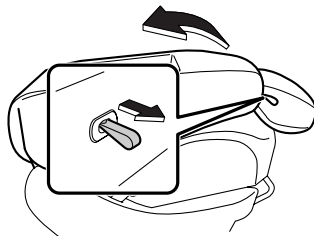


アドバイス

このとき背当てを上下に軽くゆすると背当てが上下に少し動きますが、異常ではありません。

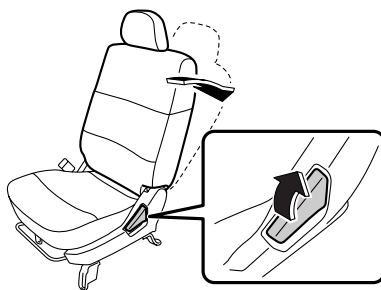
●元に戻すとき

- ① 背当て上面のストラップを引き上げた状態で、背当てを起こしロックします。



201063


- ② ドア側レバーを引き上げた状態で、背当てを好みの位置に調整します。




201057

⚠ 警告

- 折りたたんだ背当ての上に人を乗せて走行しないでください。ブレーキをかけたときや衝突のときなどに、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 背当てを折りたたんで荷物を運ぶときは、荷物を確実に固定してください。ブレーキをかけたときや衝突のときなどに、重大な傷害につながるおそれがあります。

 **注意**

- 操作するときは、操作する人やまわりの人の手や足をはさまないように充分注意してください。
- 背当てを折りたたむときは、シート上の荷物などをはさまないように注意してください。シートが損傷するおそれがあります。
- 背当てを折りたたんでいるときは、ドア側レバーを操作しないでください。背当てのロックが外れて、背当てに載せた飲み物がこぼれたり、物が落下するおそれがあります。
- 折りたたんだ背当ての上に乗ったり、重いものを置くなどして無理な力をかけないでください。思わぬけがやシートが損傷するおそれがあります。

 **アドバイス**

- 背当てを折りたたんだ状態では、ドア側レバーを引き上げても背当てを起こせません。背当てを起こすときには、「●元に戻すとき」で操作します。
- 背当てが最前傾のロック位置より後ろのロック位置にあるときには、背当て上面のストラップを操作しても水平に折りたたみません。
- シート前後位置が前方にあるときには、背当て上面のストラップを操作してもヘッドレストがインストルメントパネルに当たり、背当てを折りたたんだり戻すことができません。
- 背当てを折りたたむ前にシートベルトのバックルを前方に倒しておかないと、折りたたんだときシートにバックルの跡が残ることがあります。

■ムチ打ち軽減機能付シート（フロントシートのみ）

後方から追突されたとき乗員を背当てに沈み込ませ、頭部や頸部を支える機構です。

⚠ 注意

下記の状態でも万一追突されたとき、この機構が十分に発揮されません。

- 背当てを必要以上に倒しているとき
- 背当てと背中間にクッションなどを挟んでいるとき
- シートに浅く座っているとき

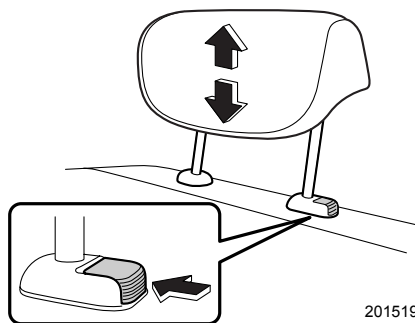
リヤシート

⚠ 注意

- リクライニング操作後は、背当て上端を前後にゆすり、シートが確実に固定されていることを確認してください。また、走行中は必要以上に背当てを倒さないでください。万一のとき、シートベルトが肩から外れ、シートベルト本来の機能が発揮されないことがあります。
- ISO-FIX方式の乳児用（ベビー）／幼児用（チャイルド）チャイルドシートを装着したとき、リクライニング操作を行わないでください。

■ピローの高さ調整

- 上げるときはそのまま引き上げます。
- 下げるときは固定解除ボタンを押した状態で押し下げます。
- 取り外すときは固定解除ボタンを押した状態で引き抜きます。



201519

🏠 アドバイス

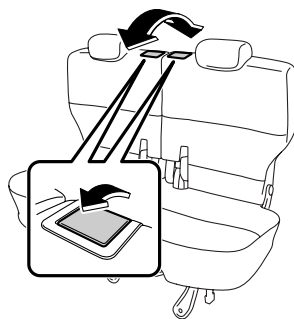
後部座席に乗員がいないときは、ピローを下げておくと視界を妨げません。

■リクライニング調整（背当て角度の調整）

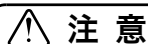
背当ての上にあるレバーを引き上げた状態で、背当ての角度を調整します。

左右独立して行えます。

※フロントシートのような背当てを戻すスプリングはありません。



201715



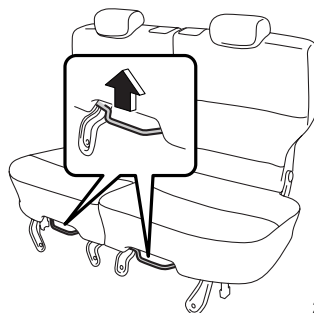
注意

操作するときは、指などを挟まないように注意してください。

■スライド調整（前後の調整）

下部のレバーを完全に引き上げた状態で前後に動かして調整します。レバーを下ろし、ロックを確認します。

左右独立して行えます。



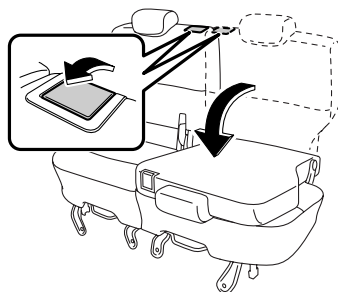
201716

■荷室として使用するとき

リヤシートの背当てを倒すことにより、荷室として広く使うことができます。背当ては左右に分割されているシートをそれぞれ倒すことができます。

●背当てを倒すとき

背当ての上にあるレバーを引いた状態で、背当てを前に倒します。



201717

⚠ 注意

操作するときは、指などを挟まないように注意してください。

●背当てを元に戻すとき

背当てを起こし、確実にロックします。

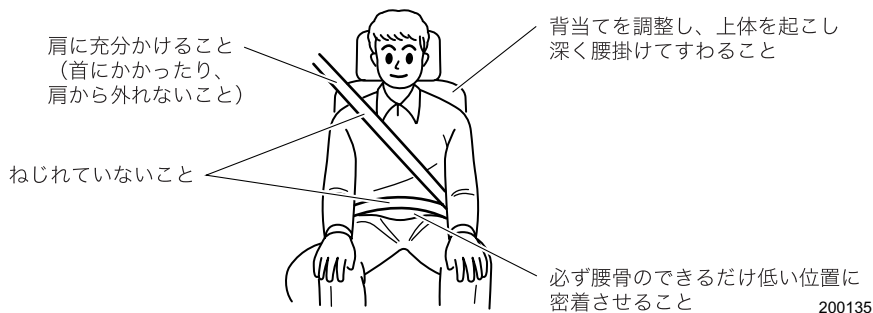
⚠ 警告

- 背当てを倒して荷室として使用する場合は、お子さまも含めて走行中、人を乗せないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けることがあります。
- 荷物や長いものをのせたときは、荷物を固定してください。急ブレーキをかけたときなどに荷物が飛びだし重大な傷害を受けることがあります。
- 背当てを元に戻したときは、背当てを軽く前後にゆさぶり確実に固定されていることを確認してください。固定されていないと急ブレーキ時などに背当てが倒れたり、荷室内の物が飛び出すなど思わぬ事故につながり重大な傷害につながるおそれがあります。
- シートベルトが背当てに挟まれていないことを確認してください。シートベルトが背当てに挟まれていると、衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

シートベルト

シートベルトの正しい着用

シートベルトは正しく着用しないと効果が半減したり、危険な場合があります。次の使用方法にしたがって走行前に運転者は必ず着用し、同乗者にも必ず着用させてください。



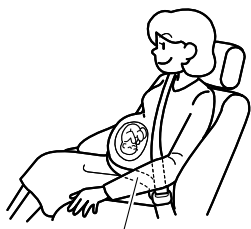
警告

シートベルトの着用は、次の事項を必ず守ってください。お守りいただかないと重大な傷害につながるおそれがあります。

- 走行する前に全員が必ずシートベルトを着用してください。
- シートベルトは一人用です。二人以上で一本のベルトを使用しないでください。
- シートベルトはねじれたり、裏返しにならないように使用してください。ねじれたり裏返しになっているとベルトの幅が狭くなったり、局部的に強い力を受けて万一のとき危険です。
- シートベルトは腰骨のできるだけ低い位置に密着させて着用してください。柔らかい腹部にかけた場合は万一のとき強い圧迫を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 肩ベルトは脇の下を通さずに確実に肩にかけてください。肩に充分にかかっていないと上半身が拘束されず十分な効果を発揮しません。
- シートベルトは上体を起こし、シートに深く腰掛けた状態で着用してください。正しい姿勢については「正しい運転姿勢」(2-37ページ)をご覧ください。
- シートの背当てを必要以上に倒して走行しないでください。衝突したときなどに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。
- ハンドルやインストルメントパネルに必要以上近づいて運転しないでください。
- シートベルトを洗濯バサミやクリップなどでたるみをつけないでください。十分な効果を発揮しません。


警告

- 妊娠中の方や疾患のある方も、万一のときに備えシートベルトを着用してください。局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので医師に相談し、注意事項を確認してください。妊娠中の方は、腰ベルトは腹部を避けて腰骨のできるだけ低い位置にぴったり着用してください。肩ベルトは確実に肩に通し、腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。



腰骨のできるだけ低い位置



胸部にかかるとように

201344

- シートベルトのバックルに異物が入らないようにしてください。異物が入るとプレートがバックルに完全にはまらなくなり、走行中に外れる場合があります。
- お子さまもシートベルトを必ず着用させてください。膝の上でお子さまを抱いていても、急ブレーキや衝突したときなどに充分支えることができず、お子さまへの重大な傷害につながるおそれがあります。
- 6歳未満のお子さまはチャイルドシートをご使用ください。
6歳以上のお子さまでもシートベルトを着用したときベルトが首、あご、顔などに当たるお子さまはスバル純正チャイルドシートを使用してください。万一のとき、ベルトによる負傷を防ぎます。
なお、スバル純正チャイルドシートの使用方法は添付されている専用の取扱説明書をご覧ください。

<選択の目安>

	ベビーシート	チャイルドシート	ジュニアシート
体重 (目安)	13 kg未満	9～18 kg	15～36 kg
身長 (目安)	85 cm未満	70～100 cm未満	95～150 cm未満
年齢 (目安)	0か月～ 1歳半頃まで	9か月～ 4歳頃まで	3歳～ 12歳頃まで

警告

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。とくにシートベルトを体に巻きつけたりして遊んだりすると、窒息などの重大な傷害につながるおそれがあります。万一、シートベルトが体に巻きついて外せなくなった場合は、はさみなどでベルトを切断してください。



200364

- シートベルトにほつれや切り傷ができたり、金具部などが正常に動かなくなったときは、シートベルトを交換してください。また、装着した状態で万一事故にあった場合は、外観に異常がなくても必ずスバル販売店で交換してください。そのまま使用すると正常に働かず、十分な効果を発揮しません。
- シートベルトの改造や取り外しなどはしないでください。衝突などのとき十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトが汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯を使用してください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤や漂白剤はシートベルトを弱めるため絶対に使用しないでください。

注意

炎天下に長時間駐車し、室内が高温になっている場合は、金属部分を持たずに、樹脂部分を持ってシートベルトを着用してください。シートベルトの金属部が熱くなっている場合があります、やけどにつながるおそれがあります。

フロントシートベルト

身体の動きに合わせて自由に巻き取り、引き出しができますが、強い衝撃を受けたときやベルトを急激に引き出そうとするとベルトが自動的にロックします。

(ELR機構)

■3点式シートベルト

●着用のしかた

- ① タングプレートをつかみ、ゆっくり引き出します。



200119

- ② ベルトがねじれないようにし、タングプレートをバックルの中へ、“カチッ”と音がするまで差し込みます。



201005

- ③ 正しい姿勢で腰掛け、腰のベルトを腰骨のできるだけ低い位置に密着させます。



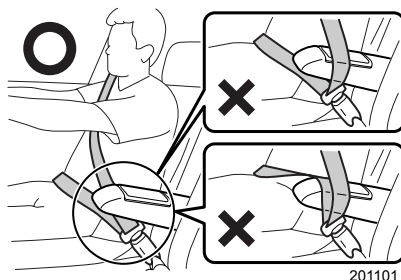
200121

警告

アームレストを使用するときにはシートベルトの効果を発揮させるため、次の手順を必ず守り、正しく装着してください。

①最初にシートベルトを装着する。

②次にアームレストを下ろす。先にアームレストを下ろしてからシートベルトを着用すると、衝突時に腹部に当たり重大な傷害につながるおそれがあります。



●外すとき

外すときはバックルの“PRESS”ボタンを押します。

ベルトが自動的に収納されますので、ひっかかったり、ねじれたりしていないかを確認します。

アドバイス

- ベルトが首に当たったり、肩から外れて腕にかかってしまうときは、ショルダーアジャスターでベルトの高さを調整します。

☆2-54ページ参照

- ベルトが引き出せないときはベルトをゆるめてもう一度ゆっくり引き出します。
それでも引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ、再度ゆっくりと引き出します。
- ベルトが外しにくいときは、アームレストを格納した状態で操作してください。

■シートベルト警報

- エンジンスイッチが \square またはONで運転席シートベルトが未着用の場合、メーター内の警告灯が点灯します。運転席シートベルトを着用すると消灯します。

- 運転席シートベルト未着用のまま車速約22 km/h以上で走行すると警告灯が点滅し、ブザーが鳴ります。

上記作動は運転席シートベルトを着用するまで約2分間続きます。

約2分経過しても運転席シートベルト未着用の場合、警告灯が点滅から点灯に切り替わり、ブザーは停止します。

警告灯は運転席シートベルトを着用するまで点灯します。



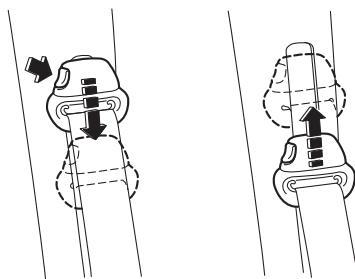
200122

アドバイス

シートベルト警報は、車速が約22 km/h以下になっても、運転席シートベルトを着用するまで約2分間続きます。

■フロントシートベルトの高さ調整（ショルダージャスター）

- ① 上げるときはショルダージャスター本体を上動かします。下げるときはボタンを押しながらショルダージャスターを動かして最適な位置を選びます。
- ② ショルダージャスターが固定されていることを確認します。



200000

警告

ショルダージャスターを調整するときは、次のことをお守りください。

守らないと衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害を受けるおそれがあります。

- シートベルトが首に当たらないように、また、肩の中央に充分かかるようにできるだけ高い位置に調整してください。
- 調整した後は、確実に固定されていることを確認してください。

🏠 アドバイス

アジャスターが上がらない場合、ベルトが引き出せず固定された状態になっている場合があります。ベルトが引き出せる状態にしてから、アジャスターを操作してください。

☆2-53ページ参照

■プリテンショナー付シートベルト

プリテンショナー付シートベルトは、前方向からの強い衝撃を受けると作動し、シートベルトを瞬間的に引き込んで前席乗員をシートへ確実に固定してシートベルトの効果をいっそう高めます。

運転席のプリテンショナーは、肩ベルトと腰ベルトに、助手席のプリテンショナーは肩ベルトに装着されており、シートベルトを着用していなくても作動します。

運転席側



助手席側



運転する前に

⚠️ 注意

プリテンショナー付シートベルトの効果を発揮させるため次の事項を必ず守ってください。

- シートを正しい位置に調整する。

☆2-37ページ参照

- シートベルトを正しく着用する。

次のような作業をするときは、必ずスバル販売店にご相談ください。

- シートベルトを取り外すとき
- シートベルトを廃棄するとき
- 廃車するとき

アドバイス

- プリテンショナー付シートベルトは一度作動すると、ベルトの引き出し、巻き取りができなくなります。
- プリテンショナー付シートベルトが作動した場合は、必ず運転席、助手席とも同時にスバル販売店で交換してください。
- プリテンショナー付シートベルトは、SRSエアバッグシステムと同時に作動します。

リヤシートベルト

3点式シートベルトが装備されています。

■ シートベルトの着用

フロントシートベルトと同じ方法で着用します。

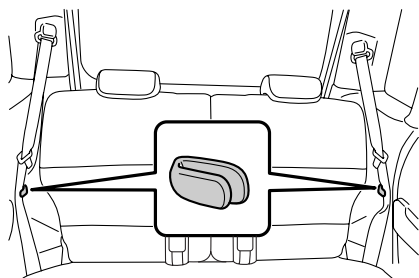
☆2-52ページ参照

■ シートベルトの格納

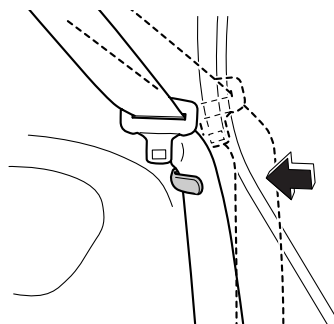
シートベルトを使用しないときは、ベルトを格納することができます。

● 格納方法

リヤシートの両脇にシートベルトを格納するホルダーがあります。ベルト部分をホルダーに差し込んで格納してください。



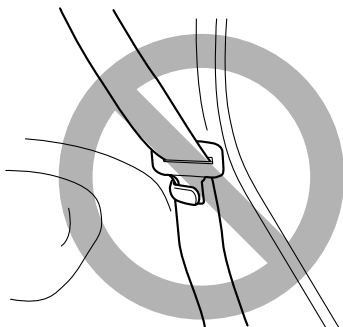
201718



201050

注意

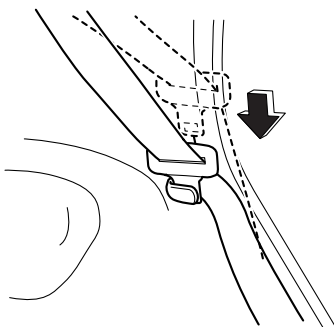
格納するときは、タングプレートとベルト部分を一緒に差し込まないでください。ホルダーが破損するおそれがあります。



201103

アドバイス

悪路走行時などでシートベルトからの音が発生する場合、タングプレートのみを格納し、固定することができます。格納する場合にはタングプレートを上から差し込んでください。シートベルトを使用するときは、逆の手順で取り外してください。



201104

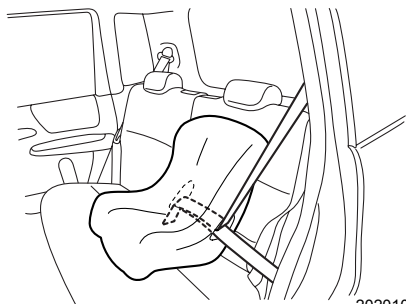
チャイルドシート

シートベルトを正しく着用できない小さいお子さまを乗せるときは、チャイルドシートをお使いください。お子さまの安全のため、チャイルドシートは必ず後席に取り付けてください。

取り付け方法および取り外し方法は、それぞれチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

■着用するとき

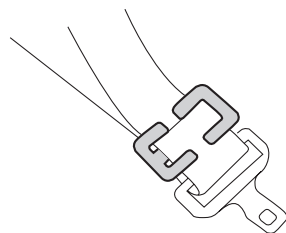
シートベルトを引き出し、チャイルドシートにシートベルトがねじれないように通してタンクプレートをバックルに確実に差し込みます。



202010

チャイルドシートにシートベルトの固定装置が備わっていない場合は、ロッキングクリップを使用して固定します。

取り付け後はチャイルドシートを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認してください。



202006

警告

- チャイルドシートは確実に固定してください。確実に固定されていないと、衝突時や急ブレーキ時お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。[詳しくは、チャイルドシート（別売）に付属の取扱説明書をご覧ください。]
- チャイルドシートは、お子さまの年齢や体格に合ったものをご使用ください。
- チャイルドシートは後席に取り付けてください。
- チャイルドシートは、お子さまを乗せていないときでもしっかりとシートに固定しておいてください。また、荷室に収納する場合でも、ロープなどを利用して固定してください。固定しないまま客室または荷室に放置すると、ブレーキをかけたときなどにチャイルドシートが動き乗員や物に当たるなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

リクライニング式シートの場合、チャイルドシートを正しく装着できる位置に調整して使用してください。

ISO-FIX固定バーおよびテザーアンカー

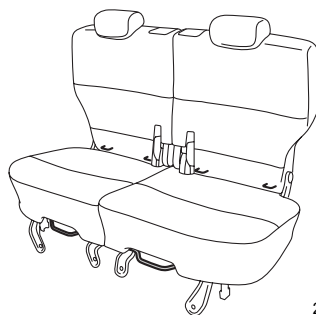
後席の左右席には、乳児用（ベビー）／幼児用（チャイルド）のスバル純正ISO-FIXチャイルドシートを固定するための専用のISO-FIX固定バーが装備されております。

また、ISO-FIXテザー式の幼児用（チャイルド）として、前向きで使用する場合には、テザーアンカーが装備されております。

- ISO-FIX方式において、この車両で認可を取得した乳児用（ベビー）／幼児用（チャイルド）のスバル純正ISO-FIXチャイルドシートは、専用のISO-FIX固定バーを使用して確実に、また、容易に固定することができます。
- ISO-FIXテザー式の幼児用（チャイルド）として前向きで使用する場合には、テザーアンカーを使用してチャイルドシートの上側を確実に固定することができます。

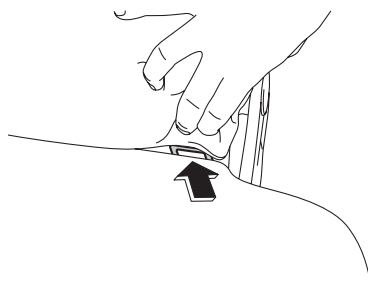
■ISO-FIX固定バー

背当てとシートクッションのすき間にあります。



201719

チャイルドシートを取り付けるときは、シートクッションと背当てのすき間を開き、ISO-FIX固定バーに差し込みます。



201029

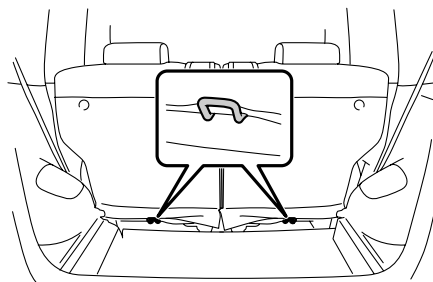
■テザーアンカー（前向き取り付け時のみに使用）

警告

- 前向きに取り付ける場合には、必ずISO-FIX固定バーとテザーアンカーをセットで使用してください。セットで使用しない場合は、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ISO-FIXチャイルドシート（テザー式）を後ろ向きに取り付ける場合には、テザーベルトを使用しないでください。（詳しくは、チャイルドシート（別売）に付属の取扱説明書をご覧ください。）

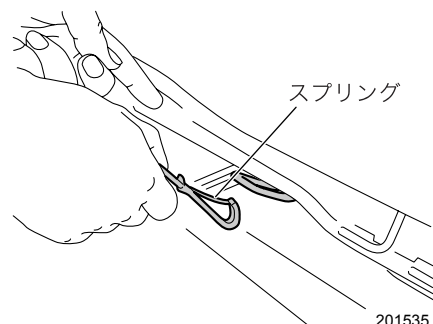
●スライドシートの場合

リヤシート背当て後ろ側にテザーアンカーがあります。



201051

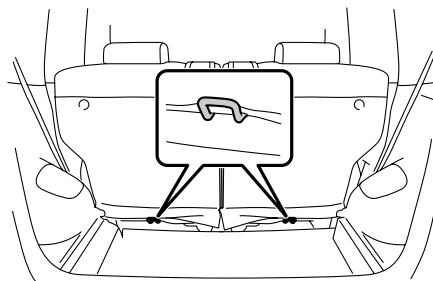
カバーをめくり、チャイルドシートのフックを図のようにテザーアンカーに引っかけます。



201535

●固定シートの場合

リヤシート背当て後ろ側にテザーアンカーがあります。

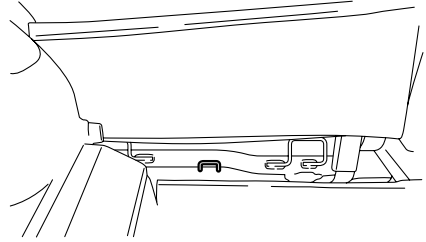


201051

次ページへ ⇒

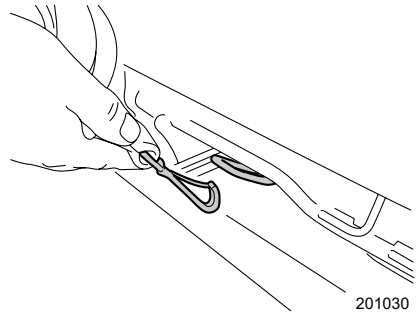
⇒前ページより

マジックテープをはがしてカバーをめくり、
リヤシート背当て後ろ側にはりつけます。



201522

チャイルドシートのフックを図のようにテ
ザーアンカーに引っかけます。



201030

警告

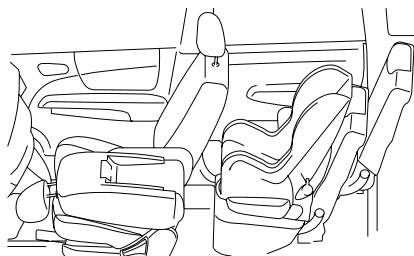
フックは、正しく取り付けてください。逆向きに取り付けると衝撃を受けたときに重大な傷害につながるおそれがあります。

■スライドシートの場合の取り付けかた

●スキンシップモードについて

スキンシップモードとは、リヤシートを最前部位置で使用することによって、運転席とチャイルドシートを近い位置にすることができるモードです。

助手席側後席にチャイルドシートを取り付ける場合、助手席の背当てを折りたたむことにより、スキンシップモードとして使用できます。



201064

▼スキンシップモードにするとき

助手席の背当てを折りたたみ、シートを最前部位置で固定してください。助手席が確実に固定されていることを確認してください。リヤシートを最前部位置で固定してください。リヤシートが確実に固定されていることを確認してください。

☆2-42ページ参照

●スバル純正ISO-FIXチャイルドシート（テザー式）を後ろ向き（乳児用）として使用する場合

詳しい取り付け、取り外し方法については、別売のスバル純正 ISO-FIX チャイルドシート（テザー式）に付属の取扱説明書をご覧ください。

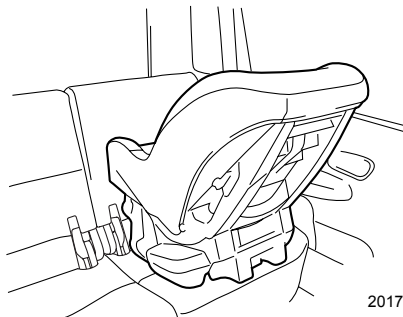
警告

- スキンシップモードにするときは、助手席シートが確実にロックされていることを確認してください。
- ISO-FIXチャイルドシート（テザー式）を後ろ向きに取り付ける場合には、テザーベルトを使用しないでください。
- ISO-FIXチャイルドシートを取り付ける際は、固定専用のアンカー部およびベースシートのロック部にシートベルトや異物の噛み込みがないことを確認してください。
シートベルトや異物が噛み込んだ場合、確実にロックされず、衝撃を受けたときに重大な傷害につながるおそれがあります。

次ページへ ⇒

⇒前ページより

- ① チャイルドシートを取り付ける場合には、下記いずれかのシート位置に調整してください。
 - スキンシップモードでご使用の場合（助手席側後席のみ）
リヤシートを最前部位置で固定してください。リヤシートが確実に固定されていることを確認してください。
 - スキンシップモード以外でご使用の場合
リヤシートを最後部位置で固定してください。リヤシートが確実に固定されていることを確認してください。
- ② 背当てとシートクッションのすき間を少し広げ、ISO-FIX固定バーの位置を確認します。
- ③ ベースシートを ISO-FIX 固定バーに確実に取り付けます。
- ④ ISO-FIX チャイルドシート（テザー式）をベースシートに確実に取り付けます。
- ⑤ ISO-FIXチャイルドシート（テザー式）を軽くゆさぶり、ISO-FIX固定バーに確実に固定されていることを確認します。



201720



注意

チャイルドシートを取り付ける際に、手を挟まないよう、気をつけてください。



アドバイス

- 背当ては、正しく装着できる位置に調整してください。
- バックルはシートに格納してください。

●スバル純正ISO-FIXチャイルドシート（テザー式）を前向き（幼児用）として使用する場合

詳しい取り付け、取り外し方法については、別売のスバル純正 ISO-FIX チャイルドシート（テザー式）に付属の取扱説明書をご覧ください。

警告

- スキンシップモードにするときは、助手席シートが確実にロックされていることを確認してください。
- 前向きに取り付ける場合は、必ず ISO-FIX 固定バーとテザーアンカーをセットで使用してください。セットで使用しない場合には、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。（詳しくは、チャイルドシート（別売）に付属の取扱説明書をご覧ください。）
- ISO-FIXチャイルドシートを取り付ける際は、固定専用のアンカーおよびベースシートのロック部にシートベルトや異物の噛み込みがないことを確認してください。
シートベルトや異物が噛み込んだ場合、確実にロックされず、衝撃を受けた時に重大な傷害につながるおそれがあります。

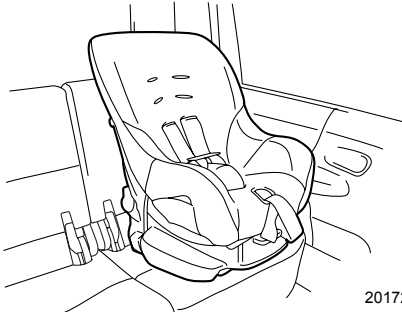
運転する前に

- ①チャイルドシートを取り付ける場合には、下記いずれかのシート位置に調整してください。
 - スキンシップモードでご使用の場合（助手席側後席のみ）
リヤシートを最前部位置で固定してください。リヤシートが確実に固定されていることを確認してください。
 - スキンシップモード以外でご使用の場合
リヤシートを最後部位置で固定してください。リヤシートが確実に固定されていることを確認してください。
- ②ISO-FIXチャイルドシート（テザー式）を取り付ける側のリヤシートのピローを取り外します。
- ③背当てとシートクッションのすき間を少し広げ、ISO-FIX固定バーの位置を確認します。
- ④ベースシートをISO-FIX固定バーに確実に取り付けます。
- ⑤ISO-FIXチャイルドシート（テザー式）をベースシートに確実に取り付けます。
- ⑥ISO-FIXチャイルドシート（テザー式）を軽くゆさぶり、ISO-FIX固定バーに確実に固定されていることを確認します。
- ⑦ISO-FIXチャイルドシート（テザー式）のテザーベルトをテザーアンカーに確実に引っかけます。
- ⑧ISO-FIXチャイルドシート（テザー式）のテザーベルトがピンと張る（5 kg 程度）まで強く引っ張って、チャイルドシートの上側を確実に固定します。

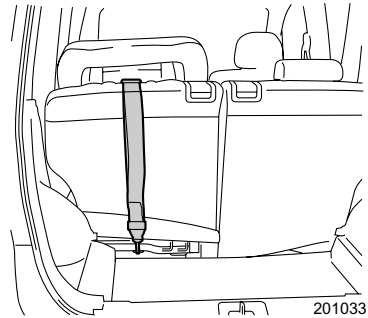
次ページへ ⇒

⇒前ページより

⑨ ISO-FIXチャイルドシート（テザー式）のテザーベルトを軽く引っ張り、テザーアンカーに確実に固定されていることを確認します。



201721



201033

警告

フックは、正しく取り付けてください。逆向きに取り付けると衝撃を受けたときに重大な傷害につながるおそれがあります。

☆2-61、2-62ページ参照

注意

チャイルドシートを取り付ける際に、手を挟まないよう、気をつけてください。

アドバイス

- 背当ては、正しく装着できる位置に調整してください。
- バックルはシートに格納してください。

■固定シートの場合の取り付けかた

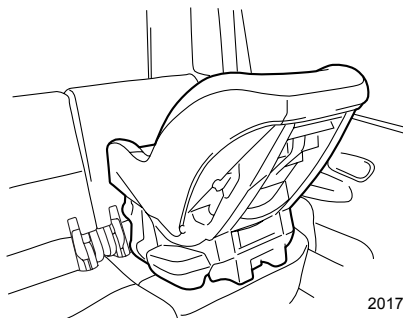
●スバル純正ISO-FIXチャイルドシート（テザー式）を後ろ向き（乳児用）として使用する場合

詳しい取り付け、取り外し方法については、別売のスバル純正 ISO-FIX チャイルドシート（テザー式）に付属の取扱説明書をご覧ください。

警告

- ISO-FIXチャイルドシート（テザー式）を後ろ向きに取り付ける場合には、テザーベルトを使用しないでください。
- ISO-FIXチャイルドシートを取り付ける際は、固定専用のアンカー部およびベースシートのロック部にシートベルトや異物の噛み込みがないことを確認してください。
シートベルトや異物が噛み込んだ場合、確実にロックされず、衝撃を受けたときに重大な傷害につながるおそれがあります。

- ① 背当てとシートクッションのすき間を少し広げ、ISO-FIX固定バーの位置を確認します。
- ② ベースシートを ISO-FIX 固定バーに確実に取り付けます。
- ③ ISO-FIX チャイルドシート（テザー式）をベースシートに確実に取り付けます。
- ④ ISO-FIXチャイルドシート（テザー式）を軽くゆさぶり、ISO-FIX固定バーに確実に固定されていることを確認します。



201720

注意

チャイルドシートを取り付ける際に、手を挟まないよう、気をつけてください。

アドバイス

- 背当ては、正しく装着できる位置に調整してください。
- バックルはシートに格納してください。

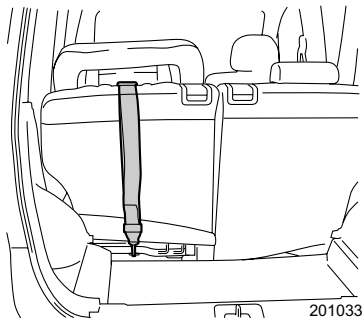
●スバル純正ISO-FIXチャイルドシート（テザー式）を前向き（幼児用）として使用する場合

詳しい取り付け、取り外し方法については、別売のスバル純正 ISO-FIX チャイルドシート（テザー式）に付属の取扱説明書をご覧ください。

警告

- 前向きに取り付ける場合は、必ず ISO-FIX 固定バーとテザーアンカーをセットで使用してください。セットで使用しない場合には、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。（詳しくは、チャイルドシート（別売）に付属の取扱説明書をご覧ください。）
- ISO-FIXチャイルドシートを取り付ける際は、固定専用のアンカー部およびベースシートのロック部にシートベルトや異物の噛み込みがないことを確認してください。
シートベルトや異物が噛み込んだ場合、確実にロックされず、衝撃を受けたときに重大な傷害につながるおそれがあります。


- ① ISO-FIXチャイルドシート（テザー式）を取り付ける側のリヤシートのピローを取り外します。
- ② 背当てとシートクッションのすき間を少し広げ、ISO-FIX固定バーの位置を確認します。
- ③ ベースシートをISO-FIX固定バーに確実に取り付けます。
- ④ ISO-FIXチャイルドシート（テザー式）をベースシートに確実に取り付けます。
- ⑤ ISO-FIXチャイルドシート（テザー式）を軽くゆさぶり、ISO-FIX固定バーに確実に固定されていることを確認します。
- ⑥ ISO-FIXチャイルドシート（テザー式）のテザーベルトをテザーアンカーに確実に引っかけます。
- ⑦ ISO-FIXチャイルドシート（テザー式）のテザーベルトがピンと張る（5 kg 程度）まで強く引っ張って、チャイルドシートの上側を確実に固定します。
- ⑧ ISO-FIXチャイルドシート（テザー式）のテザーベルトを軽く引っ張り、テザーアンカーに確実に固定されていることを確認します。




 **警告**

フックは、正しく取り付けてください。逆向きに取り付けると衝撃を受けたときに重大な傷害につながるおそれがあります。

☆2-61、2-62ページ参照

 **注意**

チャイルドシートを取り付ける際に、手を挟まないよう、気をつけてください。

 **アドバイス**

- 背当ては、正しく装着できる位置で使用してください。
- バックルはシートに格納してください。

運転する前に

SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグのSRSとはSupplemental Restraint Systemの略で、乗員補助拘束装置の意味です。

全てのSRSエアバッグはエンジンスイッチが \square またはONのときのみ作動可能になります。運転席、助手席SRSエアバッグは車両前方から乗員が重大な傷害を受けるおそれのある大きな衝撃を受けた場合に作動し、シートベルトが身体を拘束する働きと併せて、前席乗員の頭部や胸部などへの衝撃をやわらげる装置です。

SRS サイドエアバッグは車両側方から乗員が重大な傷害を受けるおそれのある大きな衝撃を受けた場合に作動し、シートベルトが身体を拘束する働きと併せて、前席乗員の主に胸部への衝撃をやわらげる装置です。

■シートベルトは必ず正しく着用してください



警告

- SRS エアバッグシステムはシートベルトを補助する装置でシートベルトに代わるものではありません。SRSエアバッグシステムだけでは身体の飛びだしなどを防止できないばかりか、エアバッグ本体からの衝撃を受けてしまいます。
- シートベルトを正しく着用し、正しい運転（乗車）姿勢をとらないと、衝突などのとき、SRSエアバッグシステムの効果が充分発揮されず、命にかかわるような重大な傷害につながるおそれがあります。
☆2-49ページ参照
- 正しい乗車姿勢になるようシート位置、ハンドル位置を調整してください。不適切な乗車姿勢ではSRSエアバッグシステムの効果を発揮させることができず命にかかわるような重大な傷害につながるおそれがあります。
☆2-37ページ参照

■乗員とSRSエアバッグの間に物を置かないでください



警告

膝の上に物をかかえるなど乗員とSRSエアバッグの間に物を置いた状態で走行しないでください。SRSエアバッグが膨らんだときに物が飛ばされたり、SRSエアバッグの正常な作動を妨げたりして、命にかかわるような重大な傷害につながるおそれがあります。

■ SRSエアバッグシステム周辺を強打したり衝撃を加えたりしないでください

警告

ハンドルのパッド部、インストルメントパネル、センターコンソール、フロントシート背当て側面、センターピラーなど、SRSエアバッグシステム構成部品の周辺を強打したり衝撃を加えたりしないでください。SRSエアバッグが正常に作動しなくなるなど、命にかかわるような重大な傷害につながるおそれがあります。

■ お子さまを乗せるときには、次の事項をお守りください

警告

- お子さまは後席に座らせて必ずシートベルトを着用させてください。後席がお子さまにとって最も安全な乗車位置です。



200366

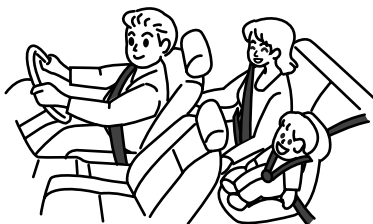
- お子さまをSRSエアバッグの前に立たせたり、膝の上に抱いたり、背負ったりした状態では走行しないでください。



100234

- 法律により 6 歳未満のお子さまを対象にチャイルドシートの使用が義務づけられています。6歳未満のお子さまはチャイルドシートをご使用ください。6歳以上のお子さまでもシートベルトを正しく着用できないお子さまは、スバル純正チャイルドシート（別売）を使用してください。スバルチャイルドシートの使用方法は添付されている取扱説明書をご覧ください。
- 助手席にチャイルドシートを絶対に取り付けしないでください。

SRS エアバッグが作動したとき、強い衝撃を受け、命にかかわるような重大な傷害につながるおそれがあります。チャイルドシートをお使いになるときは、必ず後席に取り付けてください。



200127

■ 運転席SRSエアバッグ

ハンドル部に格納されたSRSエアバッグが瞬時に膨らみ、すぐにしぼみます。

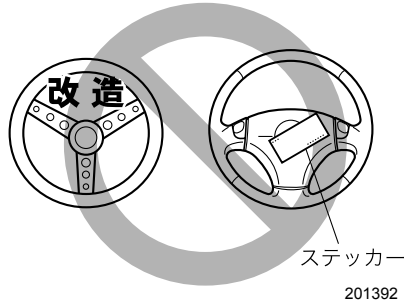


200123

■運転席SRSエアバッグに関しては、次の事項をお守りください

警告

- ハンドルを交換したり、センターパッド部にステッカーなどを貼らないでください。SRSエアバッグシステムが正常に作動しなくなります。
- ハンドルのSRSエアバッグ格納部に手を置いたり、顔や胸などを近づけないでください。SRSエアバッグが作動したとき、衝撃を受け、命にかかわるような重大な傷害につながるおそれがあります。



運転する前に

■助手席SRSエアバッグ

助手席インストルメントパネル部に格納されたSRSエアバッグが瞬時に膨らみ、すぐにしぼみます。

助手席に同乗者がいなくても運転席SRSエアバッグと同時に作動します。

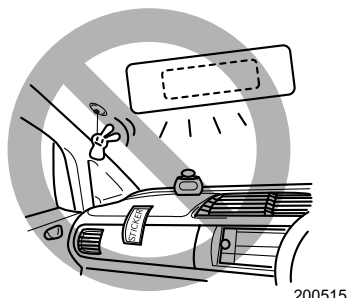


200124

■助手席SRSエアバッグに関しては、次の事項をお守りください

警告

- インストルメントパネルのSRSエアバッグ格納部に手や足を置いたり、顔や胸を近づけたり、もたれかからないでください。SRSエアバッグが作動したとき強い衝撃を受け、命にかかわるような重大な傷害につながるおそれがあります。
- インストルメントパネルの上面にステッカー類を貼ったり、アクセサリや芳香剤などを置かないでください。また、フロントガラスにアクセサリなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けしないでください。SRSエアバッグシステムが正常に作動しなくなったり、作動時にこれらの物が飛び、命にかかわるような重大な傷害につながるおそれがあります。
- インストルメントパネル上面近くにテレビやナビゲーションシステムを取り付ける場合、スバル販売店にご相談ください。助手席SRSエアバッグシステムが正常に作動しなくなったり、作動時にこれらが飛び、命にかかわるような重大な傷害につながるおそれがあります。

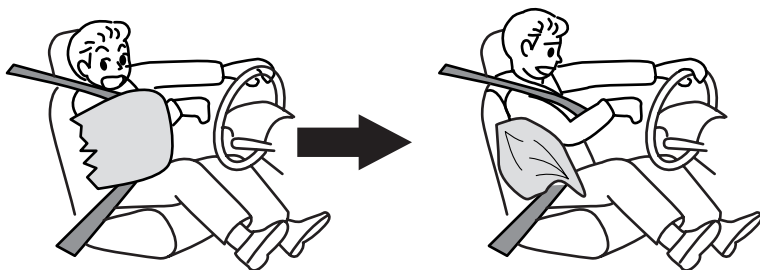


200515

■SRSサイドエアバッグ

運転席、助手席各シートに格納されたSRSサイドエアバッグが瞬時に膨らんだ後にしぼみます。膨らむのは衝撃を受けた側のみです。

SRSサイドエアバッグは、乗員がいなくても作動します。



200043

■SRSサイドエアバッグ装着車に関しては、次の事項をお守りください

警告

- フロントシート背当てのSRSサイドエアバッグ格納部に手、足、顔を近づけたり、ドアにもたれかかるような姿勢で座らないでください。SRSサイドエアバッグが作動したとき強い衝撃を受け、命にかかわるような重大な傷害につながるおそれがあります。



200368

- お子さまなどに後席からフロントシートの背当てを抱えこむような姿勢はさせないでください。SRSサイドエアバッグが作動したとき強い衝撃を受け、命にかかわるような重大な傷害につながるおそれがあります。



200369

- スバル純正のSRSサイドエアバッグ専用シートカバー以外は使用しないでください。使用する場合には添付されている使用説明書をよくお読みください。正しい向き、位置に装着しないとSRSサイドエアバッグシステムが正常に作動しなくなります。
- SRSサイドエアバッグが格納されている付近に物を置いたり、周辺にカップホルダーなどのアクセサリ用品を取り付けしないでください。SRSサイドエアバッグが作動したときこれらが飛び、命にかかわるような重大な傷害につながるおそれがあります。



200370

SRSエアバッグが作動するとき、しないとき

警告

- SRSエアバッグが展開すると、ガス排出穴からガスが抜けて直ちにしぼみ始めます。
排出穴からのガスに直接触れた場合に、やけどをすることがあります。
- SRSエアバッグが膨らんだ直後は、SRSエアバッグの構成部品に触れないでください。構成部品が大変熱くなっていますので、触れるとやけどをすおそれがあります。

アドバイス

- SRSエアバッグは膨らんだ後、直ちにしぼんで視界を妨げません。
- SRSエアバッグは一度だけ膨らみ、一度作動すると、2回目以降の衝突では再作動しません。
- SRSエアバッグは効果を発揮するために非常に速く膨らみます。このため、展開中のエアバッグと接触して打撲やすり傷、やけどなどを受けることがあります。
- SRSエアバッグが作動すると、作動音とともに白い煙のようなガスが発生しますが、火災ではありません。また、人体への影響もありません。
ただし、残留物（カスなど）が目などに付着した場合は、できるだけ早く水で洗い流してください。皮ふの弱いかたなどは、まれに皮ふを刺激する場合があります。
- SRSエアバッグは一度膨らむと再使用はできません。スバル販売店で交換してください。

■ 運転席、助手席SRSエアバッグが作動するとき、しないとき

運転席、助手席 SRS エアバッグは車両前方から乗員が重大な傷害を受けるおそれのある大きな衝撃を受けた場合に作動し、シートベルトが身体を拘束する働きと併せて、前席乗員の頭部や胸部などへの衝撃をやわらげる装置です。

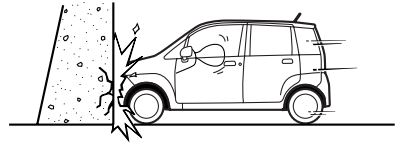
車体の衝撃吸収構造により、衝突時のエネルギーは車体がつぶれることで、吸収または分散され、車体の損傷が大きくても乗員への衝撃は大きくならない場合もあります。

したがって、車体の損傷が大きくてもSRSエアバッグが必ずしも作動するとは限りません。

●作動するとき

- 次のようなときに作動します

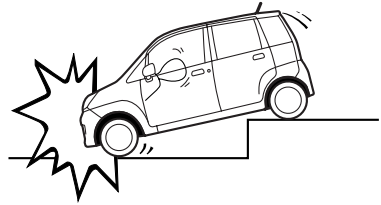
20～30 km/h以上の速度で厚いコンクリートのような壁に正面衝突したとき、また、これと同等以上の衝撃を受けたとき



201521

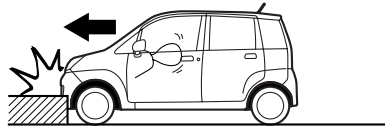
- 走行中路面などから車両下部に強い衝撃を受けたときも作動することがあります

深い穴や溝に落ちたり、ジャンプして地面にボディ下面を強くぶつけたとき



201067

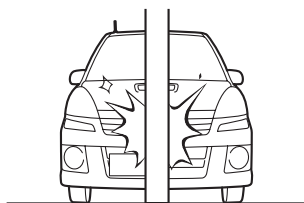
縁石に衝突したときや、道路上の突起にボディ下面を強くぶつけたとき



201068

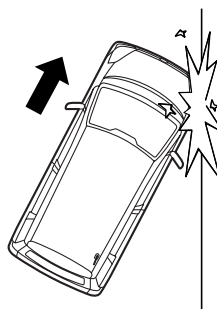
●作動しにくいとき

- 次のように、部分的に衝撃を受けたときや車両前方から衝撃が加わらなかったとき
電柱などに衝突したとき



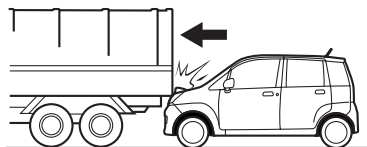
201069

斜め前方への衝突のとき



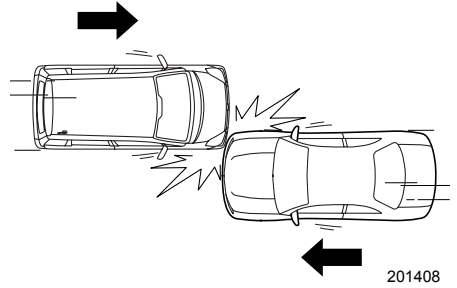
201071

トラックの荷台にもぐり込んだとき

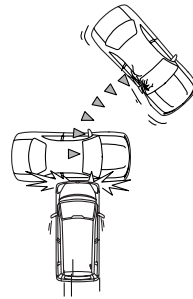


201070

片側衝突（オフセット衝突）のとき



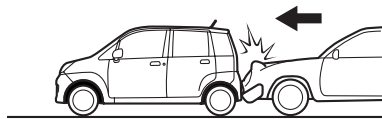
駐車している車両など、移動または変形するものに衝突したとき



運転する前に

- 次のような場合は SRS エアバッグがまれに作動することもあります。本来の効果は発揮されません

後ろから衝突されたとき



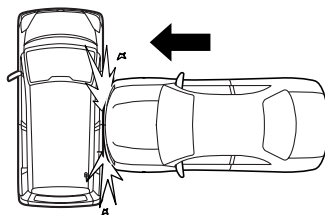
201072

横転や転覆したとき



201073

横方向から衝突されたとき

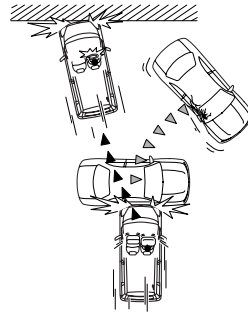


201074

●作動しないとき

- 次のようなときは作動しません

一度SRSエアバッグが作動した後の衝突



201075

■SRSサイドエアバッグが作動するとき、しないとき

SRS サイドエアバッグは、シートベルトが身体を拘束する働きと併せて、前席乗員の主に胸部への衝撃をやわらげる装置です。

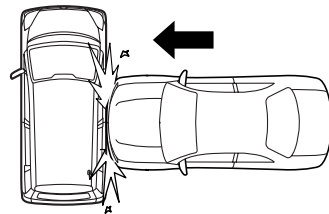
SRS サイドエアバッグは、車両側方から乗員が重大な傷害を受けるおそれのある大きな衝撃を受けた場合、作動します。

SRS サイドエアバッグの作動・非作動は、衝撃の大きさや衝撃を受けた部位、衝突方向などの条件により変わります。

●作動するとき

- 次のようなとき衝撃が大きいと作動します

側面に真横から衝突されたとき

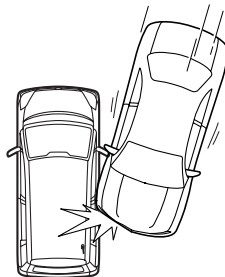


201074

●作動しにくいとき

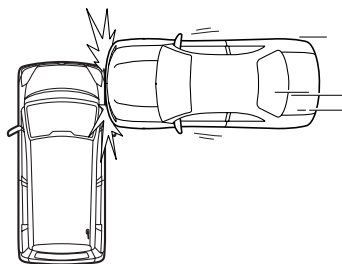
- 次のようなとき、衝撃の大きさによっては作動しないこともあります
衝突した物が変形したり移動した場合、また、衝突した物の形状や衝突の状態によっては、衝突時の衝撃が弱められるためSRSサイドエアバッグは作動しにくくなります。

車両側面に斜めから衝突されたとき



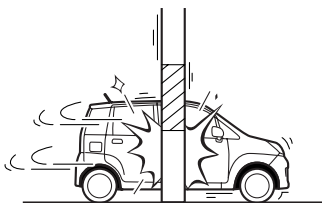
201076

客室以外に側面から衝突されたとき



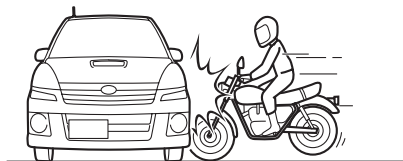
201077

電柱などに衝突したとき



201078

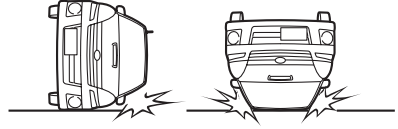
側面にバイクが真横から衝突したとき



201079

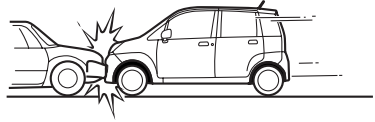
- 次のような場合は SRS エアバッグがまれに作動することもあります。本来の効果は発揮されません

横転や転覆したとき



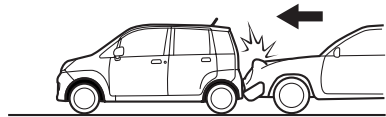
201073

停車中や走行中の車に正面から衝突したとき



201080

後ろから衝突されたとき



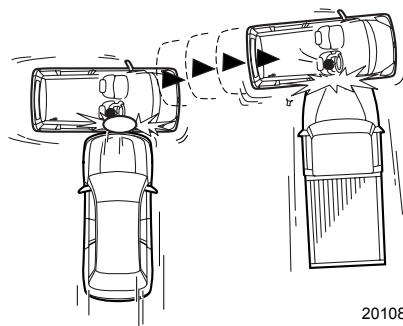
201072

運転する前に

●作動しないとき

- 次のようなときは作動しません

一度SRSサイドエアバッグが作動した後の衝突

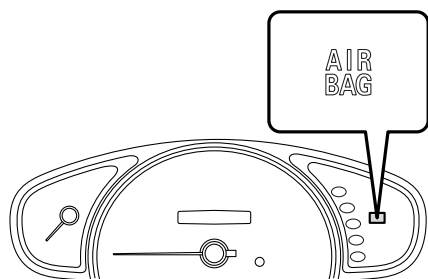


201081

SRSエアバッグ警告灯

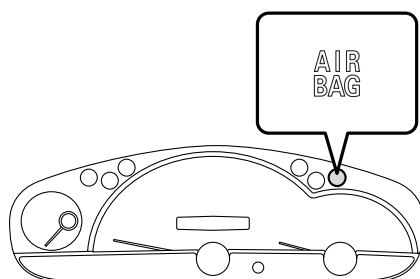
警告灯は、メーターに組み込まれており、運転席、助手席、サイドの各SRSエアバッグおよびシートベルトプリテンショナーと兼用になっています。エンジンスイッチを [III] または ON にすると点灯し、約6秒後に消灯します。

タイプAメーター



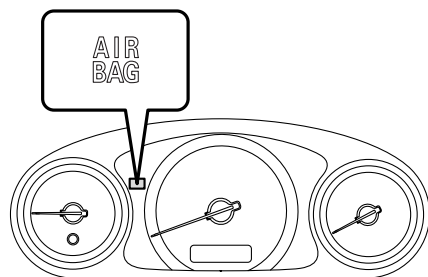
200171

タイプBメーター



200172

タイプCメーター





200537

 **警告**

警告灯が次のようになったときはシステム異常が考えられますので走行しないでください。衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。

直ちにスバル販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチを  またはONにしても点灯しないとき
- 走行中に点灯したとき

 **注意**

上記のように警告灯がシステム異常を示している場合、軽微な衝撃でSRSエアバッグが作動したり、大事故でも作動しない場合があります。

車両の整備作業やカー用品を装着するときは、次の事項をお守りください

警告

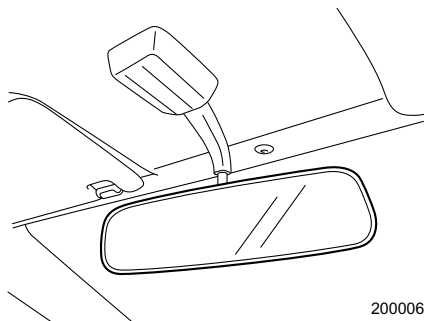
- 車両の整備作業の場合には、必ず次のことをお守りください。守らないとSRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、誤作動を起こし生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
これらの作業が必要なときは必ずスバル販売店にご相談ください。
- － サスペンションを改造したり、指定サイズ以外のタイヤへの交換はしないでください。
車高が変わったり、サスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、誤作動により思わぬ傷害につながるおそれがあります。
- － 車両前部にスバル純正品以外の部品などは装着しないでください。車両前部を改造するとSRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、誤作動を起こし重大な傷害につながるおそれがあります。
- － ハンドル廻りやインストルメントパネル、センターコンソール付近の修理、オーディオシステムの交換をする場合は、必ずスバル販売店にご相談ください。SRSエアバッグシステムに悪影響を与え、誤作動により重大な傷害につながるおそれがあります。
- － 車体前面（車体側面）の板金塗装および修理をする場合は、必ずスバル販売店にご相談ください。SRSエアバッグシステムに悪影響を与え、誤作動により重大な傷害につながるおそれがあります。
- － SRS サイドエアバッグ装着車は、フロントシートの表皮の張り替えやシートの取り外し・取り付け・分解・修理などをしないでください。
シートに内蔵されているSRS サイドエアバッグが正常に作動しなくなったり、誤作動により思わぬ傷害につながるおそれがあります。
- － SRSサイドエアバッグ装着車では、センターピラーのセンサー格納部を分解、修理しないでください。
衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。
分解、修理はスバル販売店で行ってください。
- － SRSエアバッグが格納されているパッド部に傷がついていたり、ひび割れがあるときはそのまま使用せずスバル販売店で交換してください。
衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。
- － 無線機などを取り付けるときはスバル販売店にご相談ください。
無線機の電波などはSRSエアバッグを作動させるコンピューターに悪影響を与えるおそれがあります。
- － 車やSRSエアバッグを廃棄するときは必ずスバル販売店にご相談ください。SRSエアバッグが思いがけなく作動して重大な傷害につながるおそれがあります。

ミラーの調整

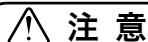
ルームミラー

■ ルームミラー

ミラー本体を動かして後方が充分確認できるように調整します。



200006


注意

調整は必ず走行前に行ってください。

運転する前に

ドアミラー

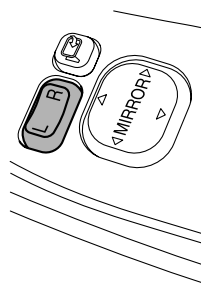
■ 電動リモコンドアミラー

エンジンスイッチがIIまたはIII、あるいはAccまたはONのとき、ミラーの調整ができます。

① 調整するミラーを選びます。

左右切り替えスイッチを押して選びます。

「L」：左側ミラー、「R」：右側ミラー

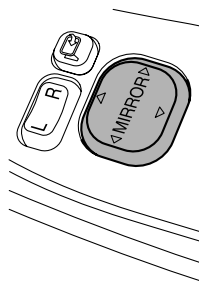


200003

次ページへ ⇒

⇒前ページより

- ②「角度調整スイッチ」を上下左右に動かして後方視界が充分確認できる位置に調整します。

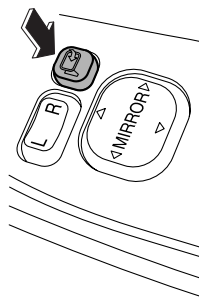


200002

■ 電動格納式ドアミラー ❧

エンジンスイッチがⅡまたはⅢ、あるいはAccまたはONのとき、左右のミラーを同時に格納できます。

スイッチを押しこむと格納します。
もう一度押すと元に戻ります。




200001

🏠 アドバイス

- 寒冷時には、作動の途中で止まることがあります。もう一度スイッチを押してください。スイッチの操作で動かないときには、ドアミラーを手で数回動かすと作動するようになります。
- 格納スイッチを連続して「格納↔元に戻す」を行うと作動しなくなることがあります。これは異常ではありませんので、しばらく待ってから作動させてください。
- 格納状態から手動で元に戻すとドアミラーがグラグラすることがあります。必ず電動で元に戻してください。なお、ドアミラーがグラグラするときは、もう一度格納状態にしてから電動で元に戻してください。

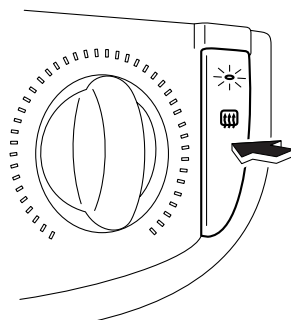
■ヒートッドアミラー

エンジンスイッチがまたは ON のとき使用できます。スイッチはエアコンの操作パネルの右横にあります。

ドアミラーについた霜や曇りを取るときに使います。リヤウインドウデフォグーに連動して作動します。

- スイッチを押すと、スイッチ内の表示灯が点灯します。
スイッチを押してから約 15 分で自動的に OFF になります。
- 作動中、途中で止めるときはスイッチをもう一度押します。

☆3-15ページ参照



300908



アドバイス

消費電力が大きいので長時間の使用、または雪などを溶かすような使いかたは避けてください。

MEMO